

北海道大学 文学部

2022年度 北海道大学 文学部

2022

School of
Humanities and
Human Sciences



北海道大学
文学部

School of
Humanities and Human Sciences
Hokkaido University

www.let.hokudai.ac.jp

文学部長からのメッセージ

文学部への誘い

北海道大学文学部は、人文科学科という一つの学科から構成されています。人文科学とはなじみのない言葉かもしれませんが、英語ではhumanities and human sciencesと私たちは表現しています。つまり人文学 (humanities) と人間科学 (human sciences) の二つの分野からなっているのです。

人文学とは、哲学・歴史学・文学など、人間が行ってきた様々な知的営みを研究する分野です。これに対して、人間科学とは人間を対象としたあらゆる科学的研究の総称であり、文学部ではその中でも人間の心理や行動、集団に関する研究を行う心理学・社会学などの分野を対象としています。文学部とは決して「文学」のみを学ぶところではなく、人間について幅広く研究する場なのです。

高校で学ぶ国語・英語及び社会科のほとんどの科目の内容を文学部で深く学ぶことができますし、芸術学・宗教学・文化人類学・言語学・心理学・行動科学など高校で学習しなかった領域の勉強を始めることもできます。北大文学部では実に多様な学問分野の教育が展開されており、みなさんが関心をもてる分野が必ず見つかるはず。このような教育環境で、自分が専門とする領域を追求するだけでなく、それに隣接する、あるいはかなり離れた分野の知識も幅広く得ることができます。私たちが重視する、自分の得意な分野を深めつつ幅広い視点をも身につけるという姿勢は、日々刻々と変化していく現代社会を生き抜く上で、生涯揺らぐことのない支えとなるでしょう。

文学部で学ぶ学問は、実社会ではあまり役に立たず就職に不利ではないかと思う人もいますが、卒業論文という形で長くまとめた文章を自力で書き上げる経験はかけがえないもの。何よりも文学部で身につける広い視野と物事をじっくり考え抜く力は、これからの予想困難で複雑さを極める社会において必ず求められる能力となります。留学支援も充実しており、国際社会での活躍に向けて第一歩を真っ先に踏み出すチャンスが得られます。優れた著作を丹念に読み解き、他の人の意見を正しく理解した上で、自らの主張をわかりやすく表現する能力が培われるよう、私たち教員は学生のみなさんと日々真剣に向き合っています。

緑豊かで広大な北大キャンパスという恵まれた環境の中、興味のつきない学問に真正面から取り組みながら、自身の人間性を豊かなものにするのできる文学部という学びの場に身を置いてみませんか。



北海道大学文学部長

藤田 健 ふじた たけし

CONTENTS

文学部概要

書香の庭	03-04
人文知のユニヴァース 4コース 18研究室	05-06
文学部の4年間	07-08

各コース紹介

哲学・文化学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	09-10
履修モデル / 先輩から	11
教員紹介 / 卒業論文テーマ	12

歴史学・人類学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	13-14
履修モデル / 先輩から	15
教員紹介 / 卒業論文テーマ	16

言語・文学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	17-18
履修モデル / 先輩から	19
教員紹介 / 卒業論文テーマ	20

人間科学コース

コース紹介 / 教員から / 研究室紹介	21-22
履修モデル / 先輩から	23
教員紹介 / 卒業論文テーマ	24

卒業論文	25-26
留学制度	27-28
資格・免許	29-30
卒業後の進路・就職	31-34
大学院進学	35-36
研究者に学ぶ	37-40
入試関連情報	41
学生サポート情報	42
キャンパスマップ	43

蔵田 伸雄 教授 推薦
純粋理性批判(上・下)
イマヌエル・カント(著)
石川文康(訳)
筑摩書房

田口 茂 教授 推薦
知恵の樹
一生きている世界は
どのようにして生まれるのか
ウンベルト・マトゥラーナ、
フランシスコ・コラーラ(著)
菅啓次郎(訳)
筑摩書房

近藤 智彦 准教授 推薦
国家(上・下)
プラトン(著)
藤沢令夫(訳)
岩波書店

佐野 勝彦 准教授 推薦
働きたくないイタチと
言葉がわかるロボット
人工知能から考える「人と言葉」
川添愛(著)
朝日出版社

宮園 健吾 准教授 推薦
自然宗教をめぐる対話
ヒューム(著)
大塚元(訳)
岩波書店

村松 正隆 准教授 推薦
笑い
ヘルクソン(著)
増田靖彦(訳)
光文社古典新訳文庫

佐々木 啓 教授 推薦
精神の生態学
グロブリー・ペイトン(著)
佐藤良明(訳)
新思社

林寺 正俊 准教授 推薦
世界古典文学全集
仏典(Ⅰ・Ⅱ)
筑摩書房

しょうこうの庭
SHOKOU no NIWA
文学部の教員が、新入生と一緒に読みたい本を紹介。多彩な教員が、皆さんをお待ちしています。

近藤 浩之 教授 推薦
戦国縦横家書
大西克也・大橋敦弘(著)
東方書店

武田 雅哉 特任教授 推薦
金瓶梅詞話
明・蘭陵笑笑生(著)
小野忍・千田九一(訳)
岩波文庫

舛和順 教授 推薦
列女伝(1・2・3)
劉向(著)
中島みどり(訳注)
平凡社

田村 容子 准教授 推薦
中国が愛を知ったころ
張愛玲短篇選
張愛玲(著)
濱田麻矢(訳)
岩波書店

応 雄 教授 推薦
シネマ(1・2)
ジル・ドゥルーズ(訳)
法政大学出版局

押野 武志 教授 推薦
日本探偵小説を知る
押野武志他(編・著)
北海道大学出版会



中村 三春 教授 推薦
フィクションの機構2
中村三春(著)
ひつじ書房

阿部 嘉昭 教授 推薦
成瀬巳喜男
阿部嘉昭(著)
河出書房新社

水溜 真由美 教授 推薦
文化と帝国主義
エドワード・W・サイード(著)
みすず書房

加藤 重広 教授 推薦
新訳 ソシュール
一般言語学講義
フェルディナンド・ソシュール(著)
小林英夫(訳) / 町田健(訳)
岩波書店 / 研究社

佐藤 知己 教授 推薦
フェルディナンド・ソシュール
一般言語学講義 抄
フェルディナンド・ソシュール(著)
大学書林

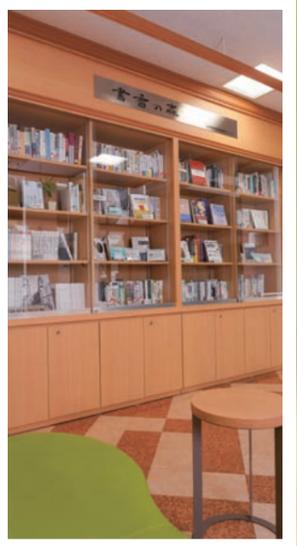
清水 誠 教授 推薦
ゲルマン語入門
清水誠(著)
三省堂

白木沢 旭児 教授 推薦
「大日本帝国」崩壊
加藤聖文(著)
中央公論新社

谷本 晃久 教授 推薦
近世風俗志
一守貞謨稿(1~5)
喜田川守貞(著)
宇佐美英機(校訂)
岩波書店

小倉 真紀子 准教授 推薦
古代史講義
邪馬台国から平安時代まで
【戦乱篇】
佐藤信(編)
筑摩書房

川口 晴弘 准教授 推薦
王政復古
慶応三年十二月九日の政変
井上勲(著)
中央公論新社



野村 益寛 教授 推薦
英語の感覚・
日本語の感覚
池上嘉彦(著)
NHKブックス

藤田 健 教授 推薦
The Wind-up
Bird Chronicle
Haruki Murakami(著)

菅井 健太 准教授 推薦
比較で読みとく
スラヴ語のしくみ
三谷惠子(著)
白水社

橋本 雄 教授 推薦
贈与の歴史学
儀礼と経済のあいだ
桜井英治(著)
中央公論新社

吉開 将人 教授 推薦
わが半生
愛新覚羅溥儀(著)
小野忍(訳)

佐藤 健太郎 教授 推薦
省察すべき実例の書、
アラブ人、ベルジャー人、
ペルベリ人および
彼らと同時代の偉大な
支配者たちの歴史に関する
読みどころとその結末の集成
イブ・ハルトゥーン(著)

村田 勝幸 教授 推薦
ブルシット・ジョブ
クンどうでもいゝ仕事の論理
デヴィッド・グレーバー(著)
酒井隆史他(訳)
岩波書店

櫻井 義秀 教授 推薦
しあわせの宗教学
ウェルビーイング研究の視座から
櫻井義秀(編)
法蔵館

平澤 和司 教授 推薦
格差の社会学入門
学歴と階層から考える
平澤和司(著)
北海道大学出版会

清水 香基 助教 推薦
宗教意識の国際比較
質問紙調査のデータ分析
真鍋一史(著)
北海道大学出版会

池田 透 教授 推薦
日本の外来哺乳類
管理戦略と生態系保全
山田文雄(編)・池田透(編)
小倉剛(編)
東京大学出版会

山本 文彦 教授 推薦
ハーメルンの笛吹き男
伝説とその世界
阿部謙也(著)
ちくま文庫



小杉 康 教授 推薦
神話の力
ジョゼフ・キケンベル(著)
平川書房

小田 博志 教授 推薦
エスノグラフィ入門
小田博志(著)
春秋社

橋本 雄一 教授 推薦
二訂版
QGISの基本と
防災活用
橋本雄一(編)
古今書院

笹岡 正俊 准教授 推薦
東南アジア地域
研究入門
1環境
山本信人(監修)
井上真(編)
慶應義塾出版会

立澤 史郎 助教 推薦
ソロモンの指環
動物行動学入門
コントラート・ローレンツ(著)
日高敏隆(訳)
早川書房

ラフェイ・ミシェル 准教授 推薦
My Lantern
河井道(著)

浅沼 敬子 准教授 推薦
Circulating World
循環する世界
浅沼敬子(著)
ユニコナパブリッシング

後藤 康文 教授 推薦
堤中納言物語の真相
後藤康文(著)
武蔵野書院

雷田 康之 教授 推薦
假名手本忠臣蔵(DVD)
国立劇場
人形浄瑠璃文楽名演集
通し狂言

野本 東生 准教授 推薦
平安朝文章史
遠辺実(著)
東京大学出版会

教員の著書や美術作品を展示「書香の森」
文学部のエントランスにある「書香の森」では、教員の著書が展示されており、興味のある本はすぐ近くの文学部図書室で借りることができます。北海道大学が収集・保管している美術作品の企画展示や読書会も開催され、気軽な情報交換にも活用できるスペースです。
ウェブ版「書香の森」
書香の森に展示されている図書と文学部発行の雑誌、企画展示について紹介する場所です。
<https://www.let.hokudai.ac.jp/book/>



2019年度から4コース18研究室に進化
伝統とハイブリッドの学びで究める

人文知のユニヴァース

体系的な学びで卒業論文執筆を応援

文学部の伝統的な学問分野を基礎とする4コース制にすることにより、中核となる専門分野の学修を進めながら、個々人の問題意識や関心に応じて、他分野や融合分野を学修することができ、卒業論文に向けた体系的な学修ができます。

2019年度以降は、1研究室が複数コースを担当することがなくなり、1研究室1コース制となったため、これまで以上にきめ細かく学生の履修指導を行う体制が整備されました。

哲学・文化学コース

Philosophy and Cultural Studies

哲学倫理学、宗教学インド哲学、芸術学、博物館学から構成されています。「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、「人間はいかに生きるべきか」を考究し、人間の精神的な営みの具体的な結果としての文化現象を探究します。



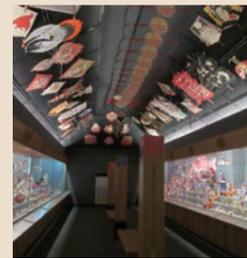
哲学倫理学研究室



宗教学インド哲学研究室



芸術学研究室



博物館学研究室

歴史学・人類学コース

History and Anthropology

世界の諸地域諸民族の社会と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法によって学ぶことを課題としています。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。



日本史学研究室



東洋史学研究室



西洋史学研究室



考古学研究室



文化人類学研究室

学びの
特徴

一人ひとりの探究心を細やかに応援しています。

- コースの定員はなく、希望通りのコースを選択できます。
- 授業選択の自由度が高い柔軟なカリキュラムです。
- コースの途中変更も可能です。
- 学びの集大成〈卒業論文〉執筆の達成感が味わえます。



言語・文学コース

Linguistics and Literature

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。ことばの歴史と仕組みを時代・地域で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を言語・映像・情報で分析するという研究を学びます。



欧米文学研究室



日本古典文化論研究室



中国文化論研究室



映像・現代文化論研究室



言語科学研究室

人間科学コース

Human Sciences

人間の行動や社会のしくみを、収集したデータの分析に基づき、実証的視点から理解することを目的としています。心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などの科目があり、実験やフィールド調査の手法について体系的に学びます。



心理学研究室



行動科学研究室



社会学研究室

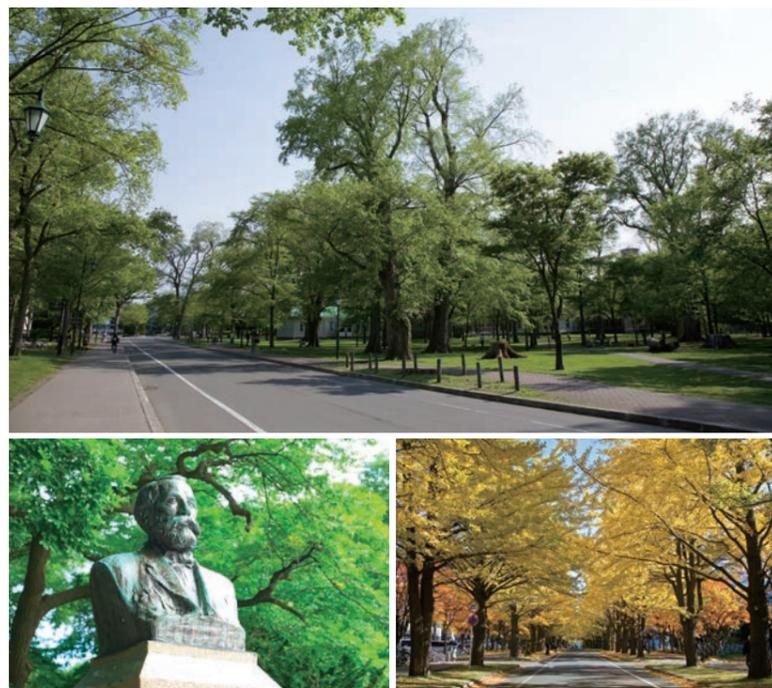


地域科学研究室

広大な緑のキャンパスで学ぶ のびやかに成長できる文学部の4年間

北海道大学文学部の履修の流れ

- 1年次
1年生全員が総合教育部に所属
幅広い教養と外国語の基礎を習得
- 2年次
文学部に進級、コースと研究室を選択
専門研究の入口に立つ
- 3年次
取り組みたい研究テーマを絞り込み
希望者は2～4年次に留学の機会も
- 4年次
指導教員の細やかな指導のもと
学びの集大成「卒業論文」を執筆



北大ならではの魅力 恵まれた学びの環境



感染対策と教育効果を 両立させた授業を実施

受講者を対面授業とオンライン授業に分けて実施するハイブリッド授業では、全員の発言を拾えるようにマイクやカメラを工夫し、授業中は換気にも気を配っています。



文学部学生用PC室で レポート作成や就活も

文学部生なら誰でも利用可能、学部内にしっかりPC室を確保。「時間を有効に使える」と好評です。



一大グリーンキャンパス 「エルムの森」

北大はJR札幌駅まで徒歩圏内、地下鉄も好アクセスのロケーション。緑のキャンパスライフは生涯の思い出に。



奨学金や留学制度も充実 多彩な支援で学生生活を応援

北海道大学はさまざまな場面で学生生活を多角的にサポート。みなさんのチャレンジを応援します。



学びに必要な資料を提供 附属図書館・文学部図書室

北大の総蔵書数は約379万冊。文学部図書室は図書約27万冊、雑誌数約5100種を豊富に取り揃えています。



研究室で深まる信頼関係 生涯の友と出会う研究室

一生モノの出会いが待つ研究室は心身ともに「居場所」となる空間。旅行や北大名物「ジンパ」など研究室独自の行事も充実!

キャンパスカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入学前						●オープンキャンパス				●大学入学共通テスト	●一般選抜前期日程	●前期日程合格発表 ●一般選抜後期日程・合格発表	入学前	
1年次	●入学式 文学部は1～4組に、文系総合は14～15組に所属。 ●履修登録 指定された単位を修得するように選択登録。毎年4月と10月に行う。		●大学祭 クラス・サークルごとの模擬店やさまざまなイベントがもりだくさん。 			●第1回履修コース説明会 4コースの説明を聞いた上で、各研究室を実際に訪問。自分の関心と合うかどうかを検討し始める。						●第2回履修コース説明会 コースと研究室を絞り込む。	●文学部移行・コース確定 全員が希望コースへ。	1年次
2年次	●2年次進級式・ガイダンス 文学部での学生生活の始まり。学修に関するガイダンスが開かれる。				夏休み(8月中旬～9月末)	●合宿 研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。				冬休み(12月下旬～1月上旬)		●就職ガイダンス 就職に関する情報を得るガイダンス。 ●第2回大学院進学説明会	●春休み(2月中旬～3月末)	2年次
3年次			●第1回大学院進学説明会			●合宿 研究室ごとに行うことがある。時期は研究室により異なる。							3年次	
4年次	●卒論指導教員の決定		●教育実習 教員免許を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。	●博物館実習 学芸員資格を取得する者のみ対象。時期は実習先により異なる。		●大学院入試(前期)		●卒論題目届を提出 指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。論文作成もいよいよ追い込みへ。		●卒論提出	●卒論口述試験 試験の内容はコース・研究室で異なる。	●大学院入試(後期)	●卒業決定者発表 ●学位記授与式 学位「学士(文学)」を授与。 ●卒業祝賀会 文学部同窓会主催。	4年次

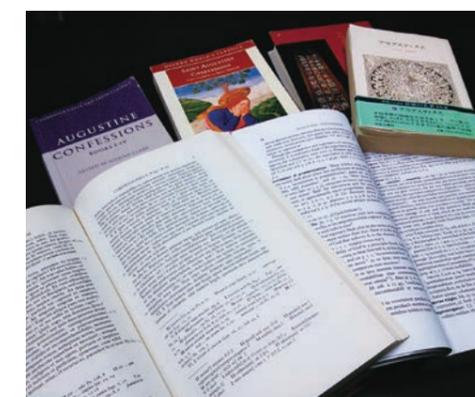
哲学・文化学コース

Philosophy and Cultural Studies



人間の精神と、 その営みの本質に迫る。

哲学・文化学コースは、哲学、倫理学、宗教学、インド哲学・仏教学、芸術学、博物館学といった専門分野から、思想と文化の根源に迫ります。古代から現代までの人類の思索の跡をたどりながら、「知ること」「存在すること」を根源から問い直すとともに、人類の普遍的なテーマである「人間はいかに生きるべきか」を考究していきます。さらに人間の精神的な営みによって創造された具体的な結果としての文化現象を探求します。



哲学倫理学研究室

長い歴史をもつ哲学・倫理学の知を学ぶと共に、現代世界に差し迫った思想的諸問題について考えていきます。



宗教学インド哲学研究室

宗教学・宗教史学、新約聖書学、死生学、仏教学、インド哲学などに関連する事柄について深く学ぶことができます。



芸術学研究室

ひとつの芸術作品に織り込まれている思想、歴史、他者との関係、個人の心情など多様な要素を読解することが芸術学の課題です。



博物館学研究室

ミュージアム（博物館・美術館・動植物園など）の歴史とあるべき姿を、コレクションとマネジメントの調査から探求して行きます。

教員から

生の営みの源泉に触れる —太古から連綿と続く文化の宇宙へ

哲学倫理学研究室 田口 茂 教授

思想・宗教・芸術などという、「食っていく」ことからは最も縁遠い分野のようにも思えます。しかし、本当にそうなのでしょうか。むしろ、これらのものこそ、私たちが「生きていく」ためのよすがなのではないでしょうか。「思想などいらない」というのもまた思想です。どん底の状態、芸術や宗教や哲学に「生かされた」という経験をもつ人は枚挙に暇がありません。歴史上無数の人たちが「生かして」きたこれらの営みに、大学時代の貴重な一時期を捧げてみませんか。何らかの意味と程度において、これからの一生の糧になることは間違いないでしょう。



先輩から

文化芸術の背景を知り、作品と自分を理解する

哲学・文化学コース 3年生 三田尾 有希子 さん

美術鑑賞が好きで本コースを選択しましたが、ここには「好き」を原動力にどんな興味・関心をも突き詰めていくことのできる環境があります。人間が作り出す文化芸術は、思想のみでなく、歴史や政治、他の文化表現など複雑で多様な背景のもとに成り立っています。これを理解し、別々の講義で学ぶ内容ひとつひとつが繋がっていることを実感できたとき、その面白さに心躍るようになりました。

私は現在、「美」に対する問いかけの歴史を学ぶとともに実際の絵画作品について調査し思案する練習を重ねています。「芸術や哲学は果たして必要か」という問いに自分なりの答えを見つけることが、ひとつの目標になっています。記されたことばや実際の作品について、資料を読み、考察を深め、議論を行い、視野を広げて再び対象に立ち返るとき、作品への理解だけでなく自分自身の存在が一段深まるような感覚を覚えるはず。哲学・文化学コースで、そうした飽くなき思索の旅へと共に出発してみませんか。



(2021年5月、3年時に取材)

コースの授業例

古典から現代までの文献を講読して
思想と文化についてとことん考え抜く一週間。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			博物館概論 博物館概論	博物館教育論 博物館教育論	
2	哲学 チューリングの思考を辿る	倫理学演習 応用倫理学・現代倫理学の諸相	宗教学演習 宗教学基礎文献講読	哲学概論 哲学の基本的諸問題	芸術学 聖堂・修道院と美術
3				ミュージアム・スタディーズ概論 ミュージアム・スタディーズの世界:コンテンツとマネジメント	
4	宗教学概論 過去と現在の宗教理論	倫理学 クローン・人工生殖・ゲノムの生命倫理	哲学演習 西洋哲学史基礎演習	西洋哲学史概説 近現代哲学史	
5			仏教学概論 仏教学入門		

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲プラトン、デカルト、カントなど西洋哲学史の基礎文献を読む。学生の問題提起によって議論が発展することも。[哲学演習]



▲宗教学の欧文文献を講読。少人数の演習では学生も積極的に発言する。[宗教学演習]



▲画像資料も活用しながら、美術作品を宗教・歴史・社会的文脈から考察。[芸術学]



▲この2単位を含め、所定の19単位を修得し卒業すると学芸員資格がとれる。[博物館概論]

研究室・教員・卒業論文テーマ

哲学倫理学研究室

蔵田 伸雄 教授 *KURATA Nobuo*
■研究分野
応用倫理学、規範倫理学・メタ倫理学、西洋近現代哲学(特にカント)

佐野 勝彦 准教授 *SANO Katsuhiko*
■研究分野
非古典論理、哲学的論理学

野村 恭史 助教 *NOMURA Yasushi*
■研究分野
現代分析哲学

【卒業論文テーマ例】

- 純粹経験を「知る」ことは如何にして可能か
- 西田幾多郎の純粹経験論についての一考察
- 記述句と固有名の指示対象について
- 自由意志と道徳的責任
- 遊びそのものの現象学的分析
- 〈生命〉と〈笑い〉—ベルクソン「笑い」が見えないもの—
- 環境倫理学の変遷と環境プラグマティズムの有用性
- 証明論的意味論の技術的・概念的基盤について
- ドゥルーズのニーチェ解釈における〈力〉と〈生成〉
- アリストテレスにおける「観想に似るもの」としての実践
- 行為記述と非難—「嘘」の二面性と非難用語としての再定義
- 型の機能からみたCurry-Howard同型の技術的・概念的背景について
- ニュッサのグレゴリオスにおける救済の思想とその枠組み

宗教学インド哲学研究室

佐々木 啓 教授 *SASAKI Kei*
■研究分野
新約聖書学、宗教学

林寺 正俊 准教授 *HAYASHIDERA Shoshun*
■研究分野
仏教学、仏教思想史

【卒業論文テーマ例】

- 中世ヨーロッパにおける魔女狩りについて
- 『阿毘達磨俱舍論』における業の研究
- 水子供養の宗教学的分析
- 平田篤胤の死生観における「志」の意義
- タラル・アサドにおける宗教概念
- 『プリハット・サンヒター』における前兆占いの研究
- 現代インドの宗教事情について
- スピリチュアリティから見る現代の宗教性

芸術学研究室

谷古宇 尚 教授 *YAKOU Hisashi*
■研究分野
西洋美術史(イタリア美術史)

【卒業論文テーマ例】

- 〈東京帝室博物館本館〉の屋根に関する考察
- 浦上玉堂に対する評価の変遷
- 日本におけるミューシャ受容—ミューシャ様式に託した青少年の揺れる心と幻想—
- グスタフ・クリムトにおける日本美術の理解とその反映について
- 岸田劉生の人物画における「触知性」—生理的側面からの考察—
- ナスカ文化の土器における図像「人間型の神話的存在」の変遷とその意味の変化について

博物館学研究室

佐々木 亨 教授 *SASAKI Toru*
■研究分野
博物館学、文化人類学

久井 貴世 准教授 *HISAI Atsuyo*
■研究分野
動物に関する歴史と文化、博物館学、歴史鳥類学

【卒業論文テーマ例】

- 日本の博物館の発展における渋沢敬三が果たした役割についての考察
- 絵金の芝居絵屏風についての考察
- フォントが展示解説パネルの文章に及ぼす影響に関する研究—可読性と判読性を基準に—
- 世阿弥の藝論における「風」の位置付け
- 長沢芦雪〈無量寺方丈障壁画〉についての考察

鈴木 幸人 准教授 *SUZUKI Yukito*
■研究分野
日本美術史、博物館学

近藤 智彦 准教授 *KONDO Tomohiko*
■研究分野
古代ギリシア・ローマ哲学、倫理学

村松 正隆 准教授 *MURAMATSU Masataka*
■研究分野
近現代フランス哲学、近現代倫理学

宮嶋 俊一 教授 *MIYAJIMA Shunichi*
■研究分野
宗教学、死生学

眞鍋 智裕 准教授 *MANABE Tomohiro*
■研究分野
インド哲学、インド哲学史

浅沼 敬子 准教授 *ASANUMA Keiko*
■研究分野
現代美術史

今村 信隆 准教授 *IMAMURA Nobutaka*
■研究分野
美学、美術批評史、博物館学

歴史学・人類学コース

History and Anthropology



人類の歴史を学び、 現代世界を理解する

歴史学・人類学コースは、世界のさまざまな地域における人類の歴史と文化を、歴史学、人類学、考古学の方法を通して学んでいきます。日本、東洋、西洋各地域の古代史から現代史までの歴史の学修と、人類の誕生から現在に至るまでの人類学および考古学の学修が中心となります。



日本史学研究室

古代・中世・近世・近現代のスタッフが揃い、研究テーマは自由に選ぶことができます。時代別の自主ゼミも活発です。



東洋史学研究室

中国（漢字文化圏）と中東イスラーム地域（アラビア語・ペルシア語・トルコ語文化圏）の歴史を研究しています。



西洋史学研究室

古代から現代にいたる時代のヨーロッパの歴史、およびアメリカの歴史を様々な視点から広範囲に研究します。



考古学研究室

考古学は遺物や遺跡の研究によって、文字以前の歴史、文字に記録されなかった歴史を人類史として再構成します。

教員から

歴史の研究は史料から —自らの手で問題を解き明かす喜び

日本史学研究室 小倉 真紀子 准教授

皆さんがよく知っている著名な文献や資料の中にも、未知の事柄はまだ多く残されています。また、現在の私たちが動かし難い史実だと思い込んでいる事柄の中にも、よく調べてみると、後世の人々が思い描いた推測に過ぎないものもあります。過去の歴史を振り返りながらそのような問題を見つけ、先人の残した史資料をつぶさに検証し、今の私達が持っている歴史認識を、あるいは追認し、あるいは修正する。それが、私達が日々行っている歴史学・人類学研究の基本的な道筋です。今まで誰も解決できなかった問題にも時として遭遇しますが、それを自分の力で解き明かした時の喜びは格別です。



文化人類学研究室

この地球の上で人類は多様な文化を形作ってきました。文化人類学では文化多様性を研究者が現場に身をおきながら明らかにします。

先輩から

人類はいかに困難を乗り越えてきたかを問う

歴史学・人類学コース 3年生 原田 拓弥 さん



(2021年5月、3年時に取材)

インターネットが世界を席巻して以降、社会は大きく変わりましたが、現在私たちが直面している多くの難局は、過去の歴史の中にも大なり小なり存在していました。私はそうした難局を過去の人類はどのように乗り越えてきたのか、という関心から歴史学・人類学コースを選び、その中でも中国史を研究しています。大学で学ぶ歴史学では、“通説”以外にもさまざまな学説を知ることができます。最新の研究や知見、動向から多様な考え方を知るのとはとても楽しく、一つの考えに固執しないで物事を見ることは非常に重要だと思います。

私の研究対象である中国も、その長い歴史の中で幾度となく困難に直面し、その度に変化を遂げる固有の歴史を歩んでいます。隣国である我が国にも大きな影響を及ぼしており、時に親近感を覚える点も中国史研究の面白さです。将来は教員志望ですので、今の自分がそうなれたように多様な視点を持てる人材教育に尽力できたらと思っています。自分を成長させる意味でも、ぜひ本コースと一緒に歴史学を学びましょう。

コースの
授業例

世界各地、各時代を構成する人々の営みを
史資料を通して追求する。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2	日本史学演習 近代日本の歴史と文化	日本史学概論 日本史学研究法	日本史学 日本近世史の諸問題	東洋史学 中国・ベトナム関係史	日本史学 平安時代の文書と社会
3	東洋史学演習 中東社会の諸問題	西洋史学演習 ドイツ中近世史	考古学概論 理論と方法	西洋史学概論 西洋史入門	
4	漢文漢籍学 漢文漢籍学	考古学 縄文文化の考古学	文化人類学概論 遠近法でみる人類誌	西洋史学 文化史研究の射程	
5					

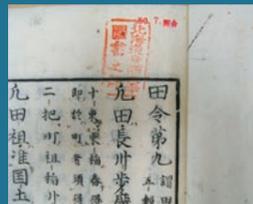
※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ 考古学の理論と方法を学ぶ。
[考古学概論]



▲ 18～19世紀の中国・ベトナム関係史を、グエン朝成立史を中心に講義する。[東洋史学]



▲ 平安時代の文書を読み解く技術と、文書を通してわかる初期荘園などの実態を学ぶ。[日本史学]



▲ 「文化」概念の変遷に注目しながら、19世紀から現在にいたる文化史研究の軌跡を描く。[西洋史学]

研究室・教員・卒業論文テーマ

日本史学研究室

権 錫永 教授 *KWEON Seok-Yeong*
■ 研究分野
日本近代思想史、植民地朝鮮文化史

白木沢 旭兎 教授 *SHIRAKIZAWA Asahiko*
■ 研究分野
日本近現代史、日本経済史

谷本 見久 教授 *TANIMOTO Akihisa*
■ 研究分野
日本近世史、北海道地域史

橋本 雄 教授 *HASHIMOTO Yu*
■ 研究分野
日本中世史、東アジア海域史

小倉 真紀子 准教授 *OGURA Makiko*
■ 研究分野
日本古代史、土地制度・財政史

川口 暁弘 准教授 *KAWAGUCHI Akihiro*
■ 研究分野
日本近代史、明治憲法史

【卒業論文テーマ例】

- 大正期外務省の「対外宣伝」
- 日本古代における律令制と祭祀
- 日本古代における女性官人
- 矢内原忠雄と満洲移民
- 日中戦後の中国残留日本人
- 中世密懐法の考察
- 有徳銭の歴史的位置付けについて
- 近世後期の八王子千人同心と地方引請人
- 幕末期下伊那地方の中間層と平田国学
- 兵士と營倉
- 藤原京の造営
- 本所七不思議考

東洋史学研究室

吉開 将人 教授 *YOSHIKAI Masato*
■ 研究分野
秦漢史、中国近現代史、中国民族問題

佐藤 健太郎 教授 *SATO Kentaro*
■ 研究分野
中東イスラーム史(特に西地中海地域)

梅村 尚樹 准教授 *UMEMURA Naoki*
■ 研究分野
宋代社会史、思想史

【卒業論文テーマ例】

- 元朝初期における山東の投下領に関する一考察
- 領域国家期のシュメール都市国家アダブにおける対外交渉
- 初期イスラム時代の女性表象
- 1936年紅軍西征期の民族政策
- 東省特別区に於ける中東鉄道権益回収運動
- トルコ革命期におけるイスタンブル政府

西洋史学研究室

砂田 徹 教授 *SUNADA Toru*
■ 研究分野
古代ローマ史

長谷川 貴彦 教授 *HASEGAWA Takahiko*
■ 研究分野
近現代イギリス史、歴史理論

松嶋 明男 教授 *MATSUSHIMA Akiyo*
■ 研究分野
近現代フランス史

村田 勝幸 教授 *MURATA Katsuyuki*
■ 研究分野
アメリカ史、アメリカ研究

山本 文彦 教授 *YAMAMOTO Fumihiko*
■ 研究分野
ドイツ中世・近世史

【卒業論文テーマ例】

- ローマ帝政期小アジアにおける患与(エヴェルジェティズム)
- 公民権運動後のアメリカにおける黒人文化をめぐるせめぎ合い
- コンスタンティウス2世の帝国統治-元老院との関係性を中心に-
- リヴァプールにおけるサッカー・フーリガニズム
- ポリシェヴィキが革命祝祭に込めた意図とその成否
- 19世紀ロシア帝国における高等教育と女性たち
- 黒人パレリーナと現代アメリカパレエの人種規範
- 16・17世紀フランスにおけるパレエと宮廷
- 19世紀のウィーンにおける音楽文化と施設
- 政治家としての画家ジャック＝ルイ・ダヴィッド

考古学研究室

小杉 康 教授 *KOSUGI Yasushi*
■ 研究分野
考古学、物質文化論、民俗誌考古学

高瀬 克範 教授 *TAKASE Katsunori*
■ 研究分野
考古学、植物考古学

江田 真毅 准教授 *EDA Masaki*
■ 研究分野
動物考古学、文化財科学

國木田 大 准教授 *KUNIKITA Dai*
■ 研究分野
考古学、文化財科学

高倉 純 助教 *TAKAKURA Jun*
■ 研究分野
考古学、文化財科学

【卒業論文テーマ例】

- 北海道豊浦町礼文華遺跡における石器の研究
- 縄文時代における堅果食の研究
- 縄文後晩期における東部瀬戸内の植物利用の変遷
- 縄文文化における貝刃について
- 勝坂式土器の文様の成り立ちについて
- 乙部町三ツ谷貝塚出土動物遺存体の分析

文化人類学研究室

小田 博志 教授 *ODA Hiroshi*
■ 研究分野
人類学、平和研究、自然-人間関係、生命論、エスノグラフィ論

コーカー ケイトリン クリステーン 准教授 *COKER Caitlin Christine*
■ 研究分野
人類学、身体化論、パフォーマンス研究、情動論

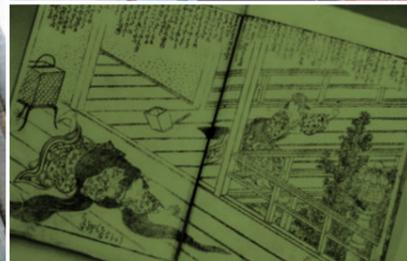
山口 未花子 准教授 *YAMAGUCHI Mikako*
■ 研究分野
人類学、自然誌、動物論、狩猟研究、北米先住民研究

【卒業論文テーマ例】

- 平取町に息づく「義経伝説」
- 動物園の「動物」たち
- 学生自治寮という共同体
- スローフード運動と先住民民族
- 「赤と黒」の応援者たち-プロサッカーチームの応援が織り成すサポーターの関係性-
- 化石採りのエスノグラフィ

言語・文学コース

Linguistics and Literature



教員から

本を開くことは世界への扉を開くこと ——異文化に触れる喜び

映像・現代文化論研究室 小川 佐和子 准教授

小説や舞台、映画、アニメ、漫画を読んで、見て、感動したり、あるいはシラけたりしたとき、その心の触感を振り下げていくのが本コースです。母語と外国語の仕組み、日常会話から時空間の越境まで、作品や言語を通じて人々のささやかな営みと世界や文化といった大きな枠組みを同時に視野に入れて探求していきます。作品分析とその背景知識、諸言語と思想・文化を専門的に学んで価値観を相対化し、好きな作品や苦手だけれど気になる作品の大海に、一緒にもぐってみませんか。うまく泳ぐのも、地上から眺めるのも、ときには溺れても、世界を知るための大切な体験となるでしょう。



バラジャーノフの映画の舞台を訪ねてアルメニアの山奥へ

ことばを通して 人間を理解する

「ことば」は人々のコミュニケーション手段であり、思考の道具でもあります。言語・文学コースでは、ことばの歴史と仕組みを時代（古典から現代まで）・地域（日本・中国・西洋）で対照しつつ考究し、ことばで表される思想・文学を各種メディア（言語・映像・情報）で分析する授業が展開されます。



欧米文学研究室

西洋古典文学・フランス文学・英語圏文学を読みながら、語学だけでなく広く文化表象を読み解くリテラシーを高めます。



日本古典文化論研究室

上代・中古・中世・近世の文学および文化を対象とし、多様な視点から理解をめざします。



中国文化論研究室

中国の思想、言語、文学などをはじめ、中国および漢字文化圏に関する幅広いテーマを学習・研究することができます。



映像・現代文化論研究室

日本の近代・現代の文学全般、日本および世界の映画を中心として、広く現代の映像・表象・思想を理論的・具体的に追究します。



言語科学研究室

言語の科学としての言語学の方法論で、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、朝鮮語、アイヌ語などを深く学びます。

先輩から

人を人たらしめる言語・文学の魅力に没入

言語・文学コース 3年生 葛本 蒼太郎 さん

日本では東欧の国々に関する知識が乏しく、特に旧ソ連諸国には、好意的なイメージを抱いている人は少数派のように思われます。私はスラブ諸語や各国の文化・歴史をしっかりと学び、このような日本の現状を変えることに少しでも役立つ存在になりたいと考えています。言語や文学というものは、人間を人間たらしめる最も重要な要素の一つと言えるでしょう。言語・文学コースではこの大きな枠組みの中から、自分の関心が赴くままに自由に研究をすることができます。

ロシア語などの外国語の授業では先生から丁寧な指導を受けられますし、能動的に授業に参加できるため、語学力の飛躍的な向上につながります。私の専門はスラブ諸語の比較研究です。例えば、ブルガリア語で *направо* は「まっすぐに」という意味ですが、同じ単語でもロシア語では「右へ」という意味になります。近いようで遠いスラブ諸語からそれぞれの親縁性を発見することに、スラブ語学研究ならではの醍醐味を実感しています。



(2021年5月、3年時に取材)

研究室・教員・卒業論文テーマ

欧米文学研究室

- | | | |
|---|---|--|
| <p>瀬内波 栄潤 教授 <i>SENAHA Eijun</i>
 ■ 研究分野
 英米文学、英語圏文学、ジェンダー・セクシュアリティ研究</p> | <p>竹内 修一 教授 <i>TAKEUCHI Shuichi</i>
 ■ 研究分野
 フランス現代文学</p> | <p>竹内 康浩 教授 <i>TAKEUCHI Yasuhiro</i>
 ■ 研究分野
 アメリカ文学</p> |
| <p>戸田 聡 准教授 <i>TODA Satoshi</i>
 ■ 研究分野
 古典文献学、古代キリスト教史</p> | <p>宮下 弥生 助教 <i>MIYASHITA Yayoi</i>
 ■ 研究分野
 Shakespeare劇、物語理論、中世英語英文学</p> | |
- 【卒業論文テーマ例】
- *Walden* as the Philosophical Bible of Life
 - 虚構としての戦争とその語り-ロシアの戦争短編小説から考える-
 - ストーンウォール改編-ポスト「ニュー・クワイア・シネマ」と新装真実の政治学-
 - 「男にならねば」-「マクベス」に描かれたルネッサンスを生きる男たち-
 - リュドミラ・ベトルシェフスカヤの長編小説『時は夜』について
 - Illusive Hope: Symbolism of Mutability in the World of Kazuo Ishiguro
 - To Live Next to Death: Fragments of the War in J.D. Salinger's *The Catcher in the Rye*
 - サルトル「水いらず」について
 - *The Great Gatsby*における視点の問題
 - アンドレ・ジッド『狭き門』と日本

日本古典文化論研究室

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>金沢 英之 教授 <i>KANAZAWA Hideyuki</i>
 ■ 研究分野
 上代文学</p> | <p>後藤 康文 教授 <i>GOTO Yasufumi</i>
 ■ 研究分野
 平安時代物語文学</p> | <p>富田 康之 教授 <i>TOMITA Yasuyuki</i>
 ■ 研究分野
 近世演劇</p> | <p>野本 東生 准教授 <i>NOMOTO Tosei</i>
 ■ 研究分野
 中世説話文学</p> |
|--|--|--|--|
- 【卒業論文テーマ例】
- 「しのびね」の考察
 - 江戸百人一首考
 - 平田篤胤の幽冥思想
 - 「古今和歌集」「四季歌」の研究
 - 「和泉式部日記」本文考究
 - 「境界」の文学的機能
 - 「世間娘気質」考
 - 累狂言の研究

中国文化論研究室

- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p>近藤 浩之 教授 <i>KONDO Hiroyuki</i>
 ■ 研究分野
 中国古代思想、易学思想史</p> | <p>武田 雅哉 特任教授 <i>TAKEDA Masaya</i>
 ■ 研究分野
 中国文化、文学、芸術</p> | <p>弥 和順 教授 <i>YUHAZU Kazuyori</i>
 ■ 研究分野
 中国古代学術思想</p> | <p>田村 容子 准教授 <i>TAMURA Yoko</i>
 ■ 研究分野
 中国演劇、中国文学</p> |
|---|--|---|--|
- 【卒業論文テーマ例】
- バンダを考える
 - 「元秘抄」にみる菅原氏の生存戦略
 - 革命現代京劇『海港』論
 - 「金瓶梅詞話」における女性と飲酒
 - 「墨子」における鬼神について
 - 伊藤仁斎「大学定本」について
 - 中国における眼の力
 - 孫武と孫臏の比較研究

映像・現代文化論研究室

- | | | |
|---|---|---|
| <p>阿部 嘉昭 教授 <i>ABE Casio</i>
 ■ 研究分野
 映画・サブカルチャー研究、詩歌論</p> | <p>応 雄 教授 <i>YING Xiong</i>
 ■ 研究分野
 映像表象論</p> | <p>押野 武志 教授 <i>OSHINO Takeshi</i>
 ■ 研究分野
 日本近代文学、表象文化論</p> |
| <p>中村 三春 教授 <i>NAKAMURA Miharu</i>
 ■ 研究分野
 日本近代文学、比較文学、表象文化論</p> | <p>水溜 真由美 教授 <i>MIZUTAMARI Mayumi</i>
 ■ 研究分野
 日本近現代思想史、ジェンダー研究</p> | <p>小川 佐和子 准教授 <i>OGAWA Sawako</i>
 ■ 研究分野
 映画史、音楽劇研究</p> |
- 【卒業論文テーマ例】
- 宮本百合子「仲子」「二つの庭」論
 - ロベール・ブレソン映画研究
 - ヒッチコック映画論 -ミステリーとホラーの側面から-
 - モンキー・パンチ論-個性的と評される作風の正体についての考-
 - 「五人の斥候兵」と「陸軍」に見るプロパガンダ性
 - 宮澤賢治「やまなし」論-作品研究と教材研究の(間)-
 - 武田泰淳「富士」論
 - 小川洋子「原稿零枚日記」論
 - 椎名林檎論
 - 江戸川乱歩論
 - 市川春子論-「25時のバカンス」から「宝石の国」へ
 - 神林長平の研究-SFが示す人間の姿-

言語科学研究室

- | | | |
|---|---|--|
| <p>加藤 重広 教授 <i>KATO Shigehiro</i>
 ■ 研究分野
 言語学、日本語学、語用論</p> | <p>佐藤 知己 教授 <i>SATO Tomomi</i>
 ■ 研究分野
 言語学、アイヌ語、北方言語</p> | <p>清水 誠 教授 <i>SHIMIZU Makoto</i>
 ■ 研究分野
 ドイツ語学、ゲルマン語学</p> |
| <p>野村 益寛 教授 <i>NOMURA Masuhiro</i>
 ■ 研究分野
 英語学、認知言語学、意味論</p> | <p>藤田 健 教授 <i>FUJITA Takeshi</i>
 ■ 研究分野
 フランス語学、ロマンス語学、統語論</p> | <p>李 連珠 准教授 <i>LEE Yeonju</i>
 ■ 研究分野
 韓国語学、言語学、日本語学、音声学</p> |
- 【卒業論文テーマ例】
- 札幌方言形容詞アクセントのゆれの様相-若年層を対象に-
 - 英語前置詞onの迷惑・不利益を表す用法に関する分析
 - A Corpus Study of Gender-Neutral Language in English
 - 現代日本語における慣用句の変化~二つのパターンを対照して~
 - Yes-No疑問文への返答システム:イタリヤ語と日本語の事例から
 - 中古日本語動詞活用体系の研究
 - スペイン語の色彩語彙における比喩表現の意味分析
 - 日本語における現代広告コピーの語用論的研究
 - アイヌ語の人称カテゴリーに関する言語類型論的考察
 - SNSの使用の拡張とその特徴に関する考察
 - 英語・フランス語における「言葉」に関する比喩表現の対照研究
 - ドイツ語における接続詞の用法について -従属接続詞dassを中心に-
 - ドイツ語のオノマトペについて
 - 法助動詞 should および ought to の用法の分析

コースの授業例

ことばの歴史と仕組みに向き合いながら探求したい文学研究を盛り込む事も可能。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			日本文学演習 日本探偵小説の成立と展開		
2		国語学演習 社会言語学研究	言語学概論 言語学の基礎	西洋文学 古代ラテン語文法	日本文学史概説 物語文学史
3	国語学 現代日本語文法の諸問題	西洋言語学演習 フランス語構文研究		映像表象文化論 映画史	
4		西洋文学 翻訳で読むロシアの短編小説	中国文学史概説 京劇入門		
5			英語学概論 英語の構造と意味	言語学演習 意味・統語論の基礎	

※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ 緊張感あふれる演習でフランス語の読解力が向上。
[西洋言語学演習]



▲ ギリシア語・ラテン語を習得すると、何を学ぶにも深みが増す。
[西洋文学]



▲ 映画と芸術の交流について、映画史のさまざまな観点から横断的に理解を深める。
[映像表象文化論]



▲ 日本文学史の流れを通時的に概観する授業。
[日本文学史概説]

人間科学コース

Human Sciences



人間の行動や 社会のしくみを解き明かす

人間の行動や社会のしくみを、収集したデータの分析に基づき、
実証的視点から理解することを目的としています。

心理学、社会心理学、社会学、社会生態学、地理学などに
関連する多彩な科目が用意されているほか、
実験、調査、研究方法などは必修となっており、
社会と心の実態に迫るための手法を身につけます。



心理学研究室

実験・調査によって収集したデータの分析に基づいて、人間の行動や、それを司る脳機能の仕組みを実証的視点から学びます。



行動科学研究室

社会心理学・進化心理学・文化心理学・行動経済学・神経科学・比較認知科学などを通じて、人や動物の心と社会との関わりを学びます。



社会学研究室

社会の仕組みとその変化を、個人との関係から読み解いていくのが社会学で、その方法（聞き取りや大規模調査など）も学びます。



地域科学研究室

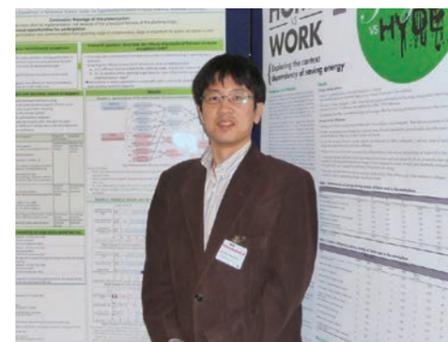
地域社会学・人文地理学・社会生態学の三分野をベースに、フィールドワークを中心として、地域の多様な問題への学問的アプローチについて学びます。

教員から

人と社会の相互関係を学ぶなら、
日本ではダントツの教育研究環境

行動科学研究室 大沼 進 教授

人と社会の相互関係を理解することは、人文・社会科学の究極の目標の一つといえます。人間科学コースでは、社会心理学、心理学、社会学、地理学、社会生態学、地域科学、認知科学、行動科学など、人と社会の関係に関する実証研究の最先端を学べます。このコースを担う研究室は、ここ10年余で文科省が推進する多くの主要な大学院教育改革プログラム（21世紀COE、グローバルCOE、卓越した大学院教育拠点形成など）の拠点として選定され、成功例として高い評価を得てきています。ここにいれば、学部生のうちから、最強のスタッフ陣とともに、単に教科書を学ぶだけでなく、教科書を書き換えるほどの研究活動に加わることができます。



先輩から

「人間」「社会」への関心を自分の視点で探求

人間科学コース 4年生 梶 蓮太郎 さん

人間科学コースは、人の心のはたらきや社会の構造・文化、人と自然との関係などいずれも「人間に関わる事象」が対象であり、人間や社会を考えるためのさまざまな研究理論や手法を選べます。私は以前から国内外の街歩きや地図を読むのが好きで、まずは身近な「地域」をより深く知る方法を学びたいと思い、地域科学研究室を選びました。「地域振興」という研究テーマの一つ取っても、統計データや地図から実態を分析する、文化・慣習に注目して複数の事例を比較する、現地調査で問題を探し出す、といったさまざまなアプローチが可能です。本コースには最先端の研究設備が揃っており、地理的・社会的な特徴が多い北海道は地域研究のフィールドとしても非常に魅力的な場所だと感じています。

現在は各地に分布する地方紙をはじめとする地域メディアについて研究しています。実習で得たフィールドワークの技法を用いながら、地域の情報のあり方を探っています。「人間」を掘り下げていけば、皆さんにも「これは面白そう!」と興味を持てる分野がきっと見つかるはず。人間科学コースでさいな疑問を思いきり追いかけてみませんか。



(2020年5月、3年時に取材)

コースの授業例

実験や調査、データ解析を通じて課題を解明。文献読解やプレゼンでコミュニケーション力もUP。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1					
2		心理学概論 心理学における基本的問題	心理学研究法 心理学のためのデータ解析	社会学演習 格差への社会的アプローチ	
3	行動科学実験実習 行動科学のための基礎実験	認知科学 進化した心、進化する文化	地域科学演習 空間情報と地理学	認知心理学 感覚と知覚	社会生態学 保全生態学概論
4	「心理学実験実習」・「社会調査法実習」・「野外調査法実習」のように、各専門分野で実習がある。(必ずしも4コマ続きとは限らない)	基礎心理学 知る・認識する仕組み	心理学演習 心理学文献基礎講読		
5					

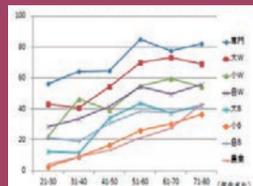
※上の表は実際の開講時間割とは異なります。



▲ 行動科学関連諸分野の主要な研究テーマと研究方法の概要を学ぶ。[行動科学実験実習]



▲ 目や耳などの感覚器官を通じて得られる情報が知覚になるまでの仕組みについて学ぶ。(Anstis, 1974) [認知心理学]



▲ 格差社会の実態をデータに基づいて考える。[社会学演習]



▲ 生物多様性の保全について、人間の視点から学ぶ。[社会生態学]

研究室・教員・卒業論文テーマ

心理学研究室

- 安達 真由美 教授 ADACHI Mayumi**
■ 研究分野 音楽心理学 (聴取、演奏、感情、発達)
- 川端 康弘 教授 KAWABATA Yasuhiro**
■ 研究分野 認知心理学 (色覚、感性、知識、熟達)
- 河原 純一郎 教授 KAWAHARA Jun-ichiro**
■ 研究分野 認知行動科学 (注意、記憶、魅力、ストレス、産業応用)
- 和田 博美 特任教授 WADA Hiromi**
■ 研究分野 発達神経行動毒性学
- 小川 健二 准教授 OGAWA Kenji**
■ 研究分野 認知神経科学 (特に運動学習や社会認知)
- 金子 沙永 准教授 KANEKO Sae**
■ 研究分野 知覚心理学 (特に視覚、錯視)
- 森本 琢 助教 MORIMOTO Taku**
■ 研究分野 認知心理学 (クロスモダルな情報処理過程、記憶、心的イメージ)

- 【卒業論文テーマ例】
- 小学生児童における視覚的視点取得の脳内基盤の検討
 - 音楽経験と作業記憶が旋律の聴覚運動処理に与える影響
 - VRを使用した食品サイズ変更が予期満腹度に与える影響
 - 二色配色の好ましさと調和に及ぼす配置の影響
 - 上下視野領域におけるカテゴリカル色知覚の特性の検討
 - 授乳期のアルコール摂取がラットの注意能力に及ぼす影響
 - 経頭蓋直流電気刺激を用いた顔表情認知における左右半球優位性の検討
 - 音楽に対する聴取者の印象に題名や視覚刺激が及ぼす影響
 - 触覚と運動に共通した身体所有感の生起に関わる神経基盤についてfMRIによる検討
 - VOCALOIDと人間歌唱の比較-印象・ストレス度変化、および感受性の間の関連性に注目して-
 - ヒト型自閉症モデルマウスの研究-レジデント・イントルーダーパラダイムにおける雄同士の超音波コミュニケーション-
 - 文字サイズが動画広告における打消し表示の再生・再認成績に及ぼす効果

行動科学研究室

- 大沼 進 教授 OHNUMA Susumu**
■ 研究分野 環境社会心理学、リスクガバナンス
- 高橋 伸幸 教授 TAKAHASHI Nobuyuki**
■ 研究分野 社会心理学、実験社会科学
- 結城 雅樹 教授 YUKI Masaki**
■ 研究分野 社会心理学、文化心理学、社会生態心理学
- 高橋 泰城 准教授 TAKAHASHI Taiki**
■ 研究分野 行動科学、神経経済学
- 瀧本 彩加 准教授 TAKIMOTO Ayaka**
■ 研究分野 比較認知科学
- 竹澤 正哲 准教授 TAKEZAWA Masanori**
■ 研究分野 社会心理学、適応的意思決定、文化進化論
- 中島 晃 助教 NAKAJIMA Akira**
■ 研究分野 応用統計学

- 【卒業論文テーマ例】
- 空間割引理論の検討〜二変数関数としての空間割引関数を考える
 - ウマにおける母子間の音声コミュニケーションに関する検討
-子ウマの発達に伴う変化に着目して-
 - 経済主体の異時点間選択のq一般化による行動経済学的研究
 - 血縁を超えた大規模な協力の発生:概念的な検討
 - 競争的協力が規範的協力が:関係流動性が協力行動の目標に与える影響
 - 不公正な提案に対する反応に評判が及ぼす効果の検討
 - 稲作栽培様式が人々の心理に与える影響-ベトナム地域間比較を通じた検討-
 - 意志決定時間の違いが他者の評価に及ぼす影響の検討
 - 無知のヴェールによりステイグマは軽減されるか
-高レベル放射性廃棄物地層処分地選定を巡る決定プロセスの違いがもたらす影響-
 - 異なる利害をもつステークホルダーの合意形成過程
~重層的なコモンズをめぐる地熱発電交渉ゲーム (LoG-Power) を用いた検討~
 - 集団に有益な戦略の進化:文化的集団淘汰の実験的検討
 - ウマにおける利他行動の実験的検討-食物共有に対する親密さの影響に着目して-

社会学研究室

- 櫻井 義秀 教授 SAKURAI Yoshihide**
■ 研究分野 宗教・文化社会学、タイ地域研究、東アジア宗教研究、ウェルビーイング研究
- 平澤 和司 教授 HIRASAWA Kazushi**
■ 研究分野 社会学 (特に教育、家族、社会階層)
- 伍 嘉誠 准教授 NG Ka Shing**
■ 研究分野 ナショナリズム研究、社会運動論、宗教・文化社会学、東アジア研究
- 樋口 麻里 准教授 HIGUCHI Mari**
■ 研究分野 社会的排除論、福祉・医療社会学、家族社会学、国際比較
- 清水 香基 助教 SHIMIZU Koki**
■ 研究分野 宗教社会学、主観的ウェルビーイング研究、価値意識の研究

- 【卒業論文テーマ例】
- 日本人の公助・共助に対する意識と行動-JGSSを用いた規定要因分析-
 - 子どもの貧困対策法と大綱制定過程から見る子どもの貧困政策における将来観
 - 認知症当事者と介護家族-家族の会と地域包括ケアシステム-
 - なぜ若者はロックフェスに参加するのか
 - 結婚意識に与える要因-両親の夫婦関係・自身の恋愛経験に着目して-
 - メイド喫茶に通う若者-第三の空間論を手がかりに-
 - #KuToo運動にみるネット上の性差別
 - 教育のスタンダード化と教員の裁量

地域科学研究室

- 池田 透 教授 IKEDA Tohru**
■ 研究分野 保全生態学、侵入生態学(外来種管理)、野生動物管理、ニュージーランド地域研究、社会生態学
- 橋本 雄一 教授 HASHIMOTO Yuichi**
■ 研究分野 都市地理学、地理情報科学(GIS)
- 宮内 泰介 教授 MIYAUCHI Taisuke**
■ 研究分野 環境社会学、地域社会学、開発社会学
- 笹岡 正俊 准教授 SASAOKA Masatoshi**
■ 研究分野 環境社会学、ポリティカル・エコロジー論、インドネシア地域研究
- 林 琢也 准教授 HAYASHI Takuya**
■ 研究分野 経済地理学、観光地理学、農村地理学
- 立澤 史郎 助教 TATSUZAWA Shirou**
■ 研究分野 保全生態学、環境教育論、シベリア地域研究

- 【卒業論文テーマ例】
- 農業者と非農業者の協働による地域づくり活動を支える
リーダー・フォロワーの関係性に関する研究-北海道南幌町「農農」を対象として-
 - 苫小牧市における保育施設の災害時避難の課題
 - 釧路市中心市街地における土地利用の変遷と課題
 - 移住交流の促進に果たすUターン者の役割-北海道浦河町を事例に-
 - 「幸せな空間」が教えてくれた「学び」について-自主夜間中学 札幌遠友塾 じっくりクラスでの活動を通して-
 - 空き家・空き店舗の活用果たす仲介者の役割-「ナゴメナバンク」を事例に-
 - 関係人口における多様な関係のあり方についての考察
-北海道厚沢部町と岩手県金石市を事例に-
 - 複合災害時における避難困難地域に関する地理学的研究
-北海道留萌市における津波浸水想定域の事例-
 - 大型食肉類に対する一般市民の被害と予防に関する認識
 - 農村地域における共同店の果たす役割と可能性:
北海道芽室町上美生地区の「みんなのお店KAMIBI」を事例に

卒業論文

4年間の学びの集大成



4年次のスケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒論指導教員の決定		教育実習 教員免許を取得する者のみ対象。 時期は実習先により異なる。	博物館実習 学芸員資格を取得する者のみ対象。 時期は実習先により異なる。		大学院入試(前期)	卒論題目届を提出 指導教員と相談して卒業論文の題目を決定。 論文作成もいよいよ追い込みへ。		卒論提出	卒論口述試験 試験の内容はコース・研究室で異なる。	大学院入試(後期)	卒業決定者発表・学位記授与式・卒業祝賀会 学位「学士(文学)」を授与。

卒業論文への取り組み

他の卒業生の卒業論文への取り組みはウェブサイトでお読みください。

case 01

卒論
テーマ

「自己のための異時点間選択と
他者のための異時点間選択との関係」
についての心理物理学的分析

人間システム科学コース
(平成26年度卒業)
徳田 真佑 さん
(とくだ しんすけ)



[テーマを決める]

“この世界に潜む社会科学的な法則を見つけたい”という行動経済学の高橋泰城先生に感銘を受け、指導を仰ぐことに。目先の利益と将来の利益、他者の代わりに選択するとき人はどちらを選ぶのか。社会的にも重要なテーマである「社会的異時点間選択」について掘り下げていきました。

[情報を集める]

3年の4月から先行研究を勉強し、11月に質問紙を自作し、北大生24人に回答してもらいました。その後は質問紙のデータ解析と、引き続き先行研究の調査に没頭。行動経済学は新しい分野なので、「これを読めばすべてが書いてある」という決定的な資料がありません。先行研究を整理することで、これまでの流れを把握すると同時に自分の位置づけも見えてきました。一番参考になったのは、やはり高橋先生の先行研究です。異時点間選択とは何か、という言葉の定義もしっかりとした土台を築かれているので、後に続く僕たちもブレずに研究を進められました。

[書き上げる]

4年の5月に大学院入試を受け、6月の教育実習を終えてから執筆は追い込み。先生から「検証しきれなかったアイデアは今後議論していけばいい」と助言をいただき、思いきって推敲していきました。おこがましいようですが、自分では納得の出来。考え出したら止まらなくなるような好きなテーマとその面白さを共有できる先生に出会えたおかげで、充実した卒論執筆の時間を持つことができました。

指導教員
からの評価

行動科学研究室
高橋 泰城 准教授

行動経済学の中でも世界的な水準の研究テーマを解明した渾身の力作です。今後さらなる研究の発展が期待されます。

case 02

卒論
テーマ

An Analysis of Adversative
Usage of English Preposition ON
(英語前置詞 on の迷惑・不利益を表す用法に関する分析)

言語・文学コース
(令和元年度卒業)
松村 大寿 さん
(まつむら だいじゅ)



[テーマを決める]

きっかけは、日本語の「雨に降られた」を英語では「It rained on me」と表すという記述を見つけたことです。同じ事態を日本語では「降られた」という受身、英語では前置詞 on という全く異なった形式で表していることに強く興味を引かれ、先行研究があまり進んでないことが判明したので、自分で「前置詞 on の迷惑用法」について明らかにしたいという気持ちに駆られました。

[情報を集める]

6月から9月末までは先行研究の収集・分析を行い、仮説を立てる助走期間。10~11月には用例の収集と英語のネイティブスピーカーを対象としたアンケート調査を行い、11~12月で一気に執筆作業を進めました。先行研究の論文に on がもともと「接触」の意味を持つところからいくつかの意味を経て「迷惑」の意味が生じることに強く興味を引かれ、先行研究があまり進んでないことが判明したので、自分で「前置詞 on の迷惑用法」について明らかにしたいという気持ちに駆られました。

[書き上げる]

論文執筆という自分一人で進めるイメージがありましたが、実際には学生同士の意見交換や先生方への相談が頻繁に行われ、それらが論文の完成度を高めることがよくわかりました。英語学の卒業論文は英語で書くのが慣例となっているため、執筆は想像を超えた大変さでしたが、その分完成した時の喜びはひとしお。見返してみると理由付けやアンケート調査の分析に改善すべき点があり、さらに扱えきれなかった話題もあるので、今後の研究のモチベーションとなりました。

指導教員
からの評価

言語科学研究室
野村 益寛 教授

卒論の成功のカギはテーマ選びにあり。そのためには日頃から「なぜだろう?」とアンテナを広く張ること。この点でこの卒論は最初から成功が約束がされていました。



留学制度

異文化のレンズを通して日本を相対化する 実践的な外国語力を身につけ、世界という舞台へ

北海道大学の交換留学制度

— 文学部独自の制度も充実 —

北海道大学では、海外の51カ国・地域の199大学等と大学間交流協定を結んでいます(2021年3月現在)。このうち、189大学と「大学間」の学生交流覚書を、また、それとは別に「部局間」の学生交流覚書も締結しています。学生はこれらの協定大学に1学期間あるいは1年間「交換留学」することができます。大学間の場合は、北海道大学の学生全員が対象ですが、部局間の場合は、協定を結んでいる部局の学生が対象となります。文学部では、現在24大学と部局間交流協定を締結しており、このうち13大学と学生交流覚書を取り交わしています。これらの13大学に対しては文学部独自の交換留学制度があります。

交換留学のメリットいろいろ

— 授業料不徴収、単位認定、生活相談も —

北海道大学は海外の協定大学との間に「授業料不徴収」の取り決めを結んでいます。「授業料不徴収」とは、北海道大学に授業料を納めれば留学先の大学に授業料を払わずに済むという制度で、北大よりも高い学費の大学へ留学したい場合は非常に有効です。交換留学であれば、留学先の大学の専門科目を履修することができ、そこで修得した単位が文学部の審査によって帰国後に認定される場合があります。

また大学間交流協定校への交換留学の場合、出願手続きを学務部国際交流課がサポートし、出発前に交換留学生を対象としたオリエンテーションも実施します。留学中もメール等で授業や生活等に関する相談に応じるとともに危機管理に関する情報も提供しています。文学部の部局間交流協定校への留学は、文学部独自の支援が受けられます。一人一人の状況に応じたきめ細やかなフォローで、事前準備から留学中の相談にも対応しています。

国際交流協定校Map



文学部が提案・関係部局となっている大学間交流協定校
 アバディーン大学 / アラスカ大学フェアバンクス校 / イルクーツク国立大学 / ウィスコンシン大学マディソン校 / ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学 / オウル大学
 オクラホマ大学 / オークランド大学 / ケルン大学 / サハリン国立大学 / ジュネーブ大学 / ソウル市立大学 / タルトゥー大学 / デラサル大学
 ノヴォシビルスク国立大学 / ハワイ大学マノア校 / バイロイト大学 / プラレスト大学 / 北京大学 / 北京師範大学 / ベオグラード大学 / ヘルシンキ大学
 北東連邦大学 / 香港中文大学 / マヒドーン大学 / ミラノ・ピッコカ大学 / ワルシャワ大学

[50音順]



あなたの隣にも留学生が 国際色豊かな北大キャンパス

北海道大学には世界各国から集まった大勢の外国人留学生
が学んでいます。留学生との交流プログラムも豊富に用意され
ており、さまざまな体験を通して国や人種、ことばや文化、宗教
などの壁を越えた友情を育むことができます。

文学部や大学院文学院に在籍する各国の留学生たち(21カ
国・226名、令和3年5月現在)も、皆さんの大学時代を彩る
大切な仲間たち。緑のキャンパスにいながらにして国際交流や
異文化コミュニケーションが始まります。

部局間交流協定校
ザグレブ大学(クロアチア共和国)
 地域科学研究室 留学年次3年
 三井 和(みつい なごみ)さん



多様な生き方を学んだクロアチア留学
 ザグレブでは大学や留学生のコミュニティだけでなく、大使館
職員をはじめ海外で活躍する在住日本人を中心に年齢も人生
経験もまったく異なる人々が互いを受け入れ支え合う心地よく温
かい人間関係の中で過ごすことができました。多様な生き方や
価値観に出会うかけがえのない経験となりました。

大学間交流協定校
国立台湾大学(中華民国)
 社会学研究室 留学年次2年
 荒 幹彦(あらもとひこ)さん



充実の留学生支援、快適な学生生活
 ジェンダー分野に関心があり、アジアでは台
湾大学がこの領域で先進的な研究を行って
いたので、留学先としました。中国語が流暢でなく
ても英語の授業が受講可能です。チューター制
度を始め、留学生向けのイベントや支援が充実
していて、さまざまな体験を通して多くの友人と
交流しました。

大学間交流協定校
オクラホマ大学(アメリカ合衆国)
 文化人類学研究室 留学年次4年
 酒井 舞香(さかい まいか)さん



異文化の中「当たり前」を問い直す
 文化人類学研究室で学んだ異文化理解や
多様性尊重という考え方を体験したいと考
え、オクラホマ大学で人類学、先住民学、舞踊
を中心に学びました。最初は不安でしたが、自
ら積極的に行動することで、授業や課題に対す
る自信もつき、現地学生と充実のディスカッ
ションを交わせたことが大きな収穫です。

海外からの留学生
上海外国語大学(中華人民共和国)
 言語科学研究室 文学院修士1年
 張 琴琴(ちよう きんきん)さん



数量詞の謎を解明するために北大へ
 中国で日本語を学んでいた時、数量詞に疑
問を持ちました。調べるうちに、加藤重広先生
の研究に出会い、北大への留学を決意しまし
た。文学部研究生として入学、コロナ禍で来日
が遅れ海外から遠隔授業を受講しました。来日
後は北大の豊かな環境を満喫しながら勉強し、
目標の大学院進学を果たせました。

さらに詳しい留学体験記は「留学ガイドブック」または文学部ウェブサイトで見ることができます。



文学部で取得できる教員免許や資格 「なりたい自分」に向かって計画的に

進路の選択肢を増やす免許や資格 取得に必要な所定単位は要チェック!

文学部では、中高教員免許状の他、美術館・博物館・資料館などの学芸員資格、また、社会調査士、考古調査士の資格も取得できます。資格を持っていると、進路を決める際に選択肢が大きく増え、可能性の幅が広がります。免許・資格の取得には所定の単位の修得が必要です。カリキュラムを計画的に組み立て、単位の取りこぼしがないように気をつけましょう。



教える喜び・難しさを学ぶ

教育職員免許状

中学校・高等学校の教員になるには、教育職員免許状が必要です。この免許状を取得するために開設されているのが教職課程です。教職課程の履修を通して、教育の基礎理論の他、生徒への指導や相談方法など教員に必要な知識や技能を学んでいきます。このため、卒業に必要な単位より多くの単位を修得する必要があります。教育実習も必修です。

- 中学校教諭一種免許状 [国語、社会、外国語(英語)]
令和2年度の北大文学部生 取得数12件
- 高等学校教諭一種免許状 [国語、地理歴史、公民、外国語(英語)]
令和2年度の北大文学部生 取得数23件

情報化社会で注目度上昇中

社会調査士

社会調査士資格には、「社会調査士」と「専門社会調査士」の2種類があります。どちらも社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえる能力を有する(調査の専門家)のことです。

「社会調査士」の資格を活かし、社会の動きを読み解くエキスパートとして活躍する場は多彩です。調査会社をはじめシンクタンクやコンサルタント会社、官公庁、マスコミ、IT企業ほか多くの民間企業で、調査の実施、結果の分析、その後の施策の企画立案等に携わります。

文学部では、「社会調査士」資格取得のために必要な科目(社会調査協会・標準カリキュラムに準拠)を開講しています。「専門社会調査士」は大学院修士課程修了で取得することができます。

- 社会調査士
令和2年度の北大文学部生 取得数9件

博物館の企画運営の専門職

学芸員

学芸員とは、「博物館法」に定められた博物館(美術館、科学館、動植物園、水族館などを含む)に勤務する専門職員です。

主な仕事は、専門分野の調査・研究、資料の収集・整理・保管・展示、利用者へのアドバイス、地域住民に対する社会教育・生涯学習の指導・助言等。他に博物館の運営等の業務もあり、博物館全般の業務をこなします。

法令の定める「博物館に関する科目」を修得し、かつ学士の学位を有することで学芸員になるための資格が得られます。文学部では、学芸員資格取得のための説明会を毎年4月に実施しています。

- 学芸員
令和2年度の北大文学部生 取得数19件(大学院生8件・計27件)

埋蔵文化財調査の専門家

考古調査士

北海道大学では令和2年度に新設。取得できる考古調査士資格には、学部卒業時に取得できる「2級考古調査士」と大学院修士課程もしくは博士後期課程修了時に取得できる「1級考古調査士」の2種類があります。どちらも文学部または文学院が開講している所定の授業科目の単位を修得し、考古調査士資格認定機構から認定されると取得できます。

埋蔵文化財調査と保存・活用に求められるさまざまな専門知識と技術を身につけ、国民共有の財産である文化財の保存と活用に関わります。行政機関や民間組織での活躍が期待されます。

- 2級考古調査士
令和2年度の北大文学部生 取得数1件

演習で培った技術を授業で応用

勤務先 札幌市立もみじ台南中学校
[国語科・英語科教諭]

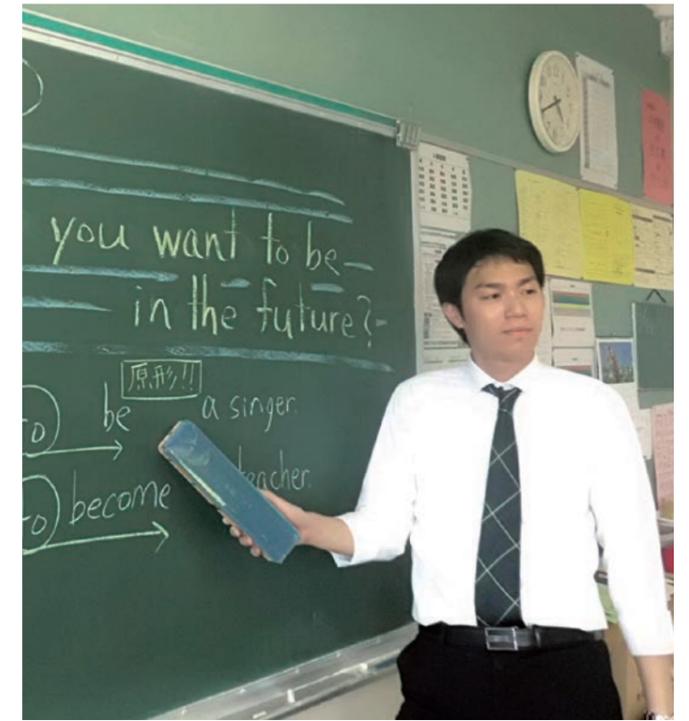
内田 俊樹(うちだ としき)さん
文学部 言語・文学コース(平成28年度卒業)

北海道大学在籍中は英語学を専攻していました。中高で学んだ英語のちょっとした疑問や意外な一面を知ることができ、「面白い学問だな」とのめり込んでいきました。北海道大学文学部は教員の数も多く、バラエティに富んだ講義の中から興味・関心に応じたものを比較的自由に選択することができます。そのため専門性を磨くかわら、幅広い教養を身に付けることができました。

なかでも演習で培った技術は、教員になった現在も役立っていると感じています。例えば、課題の論文の内容をまとめる資料作成と発表で培われた技術は、今受け持っている授業にもそのまま活かされています。また、ゼミや卒業論文で先行研究を読み漁った経験も教材研究に役立っています。

教職はとてもやりがいがある職業です。学級経営や校務分掌など多くの仕事がありますが、生徒と一緒にいる時間が一番長いのは、なんといっても授業です。教員を志す皆さんは、学問に真摯に向き合い、その専門性を高めていってほしいと思います。

※本項は2019年6月現在のデータで構成しています。



異分野の仲間と学ぶ醍醐味を実感

勤務先 本郷新記念札幌彫刻美術館(公益財団法人札幌市芸術文化財団) [学芸員]

山田 のぞみ(やまだ のぞみ)さん

文学部 哲学・文化学コース(平成23年度卒業)
大学院文学研究科 思想文化学専攻[修士](平成25年度修了)
大学院文学研究科 思想文化学専攻[博士](平成29年度修了)

問いを立て、考えを言葉にし、議論に参加していたゼミを今振り返ると、問題に直面した時に対処する姿勢を学ぶ機会に恵まれていたと感じます。学内に収蔵されている美術品の展覧会を企画運営するプロジェクトでは、様々な人と協働しながら、教室での学習を実践に移す貴重な経験を積むことができました。

今日のミュージアムでは、異分野との融合を試みた新しい企画や展示も実施されています。在学中に自らの専門と直結した美術館のみならず、自然史系博物館や科学館の学芸員を目指す仲間とともにミュージアムのあるべき姿を考え、課題に取り組むことができるのも、「総合大学のなかの文学部」で学ぶ大きな醍醐味です。

卒業後、美術館勤務を数年経て「学芸員リカレント教育プログラム*」で再び学び始めました。現職の学芸員を含む参加者が、各々の経験を持ち寄り研鑽を積み重ね、とても刺激的です。日々の仕事の位置づけや意義を俯瞰的にとらえる視点を育て、職場での実務に活かしていきたいと考えています。

*大学で資格を取得後、ミュージアムに就職した現職の学芸員を対象にして、さらに専門的な学びの機会を提供するプログラムです。2018年度から2020年度にかけて文化庁の助成を受け、北大文学部が主催して講義や実習を実施しました。

※本項は2019年6月現在のデータで構成しています。



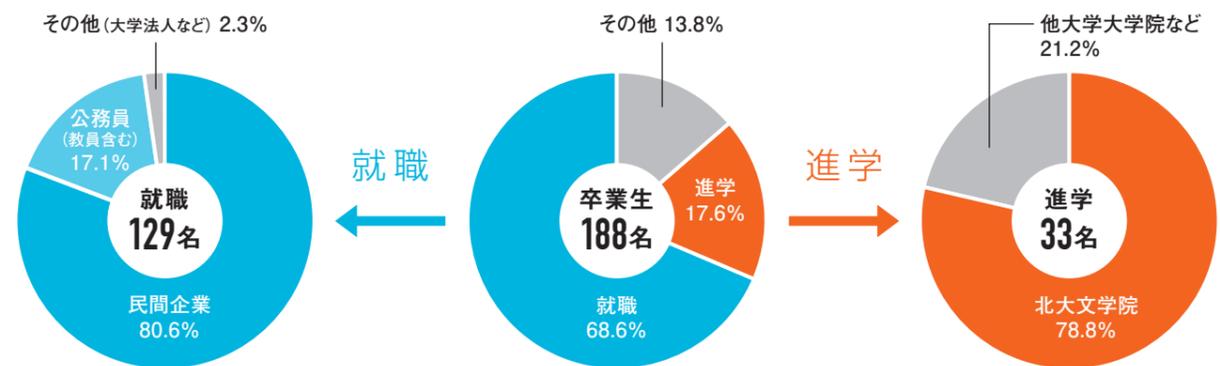


文学部で培った「伝える力」を發揮 学びの豊かさを映す多彩な就職先

豊かな学びを吸収した北大文学部生の進路・就職先は、実に多彩です。研究対象を問わず「読む」「聞く」「書く」「説明する」ことに真摯に取り組む姿勢は、文学部生ならではの美点であり、卒業論文を書き上げる過程で「調べる」「分析する」「理解する」「人にわかりやすく伝える」といった、社会で必要とされるスキルもしっかり習得できます。

また、北海道の自然に囲まれ、さまざまな仲間と過ごすキャンパスは、大切な人間形成の場でもあります。コミュニケーションスキルも自ずと磨かれ、社会というステージでのびのびと活躍している先輩たちが大勢います。

進路・就職データ (令和2年度 / 卒業生188名)



約7割が就職、
うち民間企業が約8割、公務員が2割弱

大学院進学は約8割が北大文学院

学生の一步先をやさしくサポート、進路・就職の説明会も随時開催

文学部では毎年、進路や就職選択のサポート活動として「履修コース説明会」「就職ガイダンス」「大学院進学説明会」などを行っています。また、文学部図書室に設置された就職資料コーナーでは豊富な資料が閲覧できるほか、学生用PC室では就職情報の検索など自由にPCが利用できます。



▲就職ガイダンス

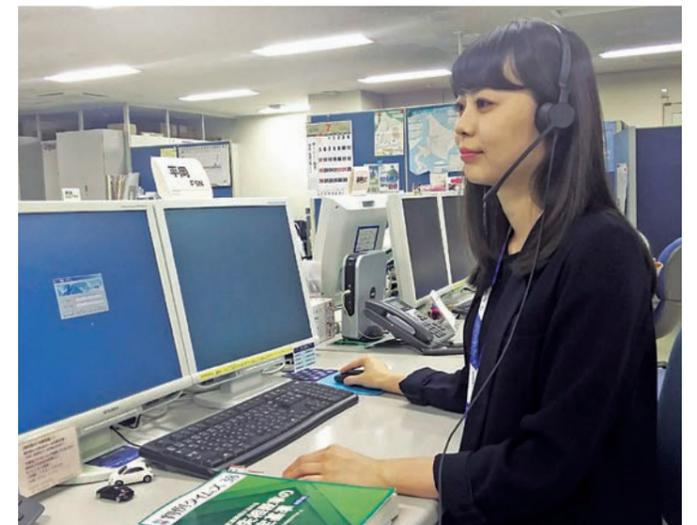


▲大学院進学説明会 ※令和2年・3年はオンラインにて開催

事実を見定める歴史学の学びを保険業務に活用

勤務先 東京海上日動火災保険株式会社
北海道損害サービス部 旭川損害サービス課

平岡 華歩(ひらおか かほ)さん
文学部 歴史学・人類学コース(平成28年度卒業)



大学では思い切り好きなことを学ぼうと、小学生の頃から興味があった歴史学が充実している北大へ。北大の日本史学研究室は時代ごとにゼミが分かれており、私は小倉真紀子先生のもと、「平安時代の伊勢斎宮」をテーマに取り組みました。数々の史料をもとに斎宮の選定例や背景を検証し、これまでの通説が正しいと言えるのか、自分なりの結論を導き出しました。

現在携わっている会社の業務も推測や憶測ではなく、正しく事実を認定し、法律や約款に基づいて適正に保険金をお支払いすることが重要です。大学時代に学んだ「なぜ」を大切にすることが、いま社会人になった私の「主体的に行動する」基本指針の土台となっています。

大好きな学問に真摯に向き合い、たくさんの友人と一緒に充実した学部生活を送った日々は、人生の大きな財産です。これから入学される皆さんも楽しく、素敵な学生生活を過ごせるよう心から応援しています。

お仕事紹介:目に見えない保険を形にしてお届け

形のない商品を扱うからこそ「人と人」の信頼関係に重きを置く金融業界に興味を抱き、きらきらと輝く先輩社員が多い当社に惹かれました。現在はお客様の自動車事故の対応を行う損害サービス業務に携わっています。目に見えない保険を形にしてお客様にお届けすることに非常にやりがいを感じています。

※本項は2020年6月現在のデータで構成しています。

人生や世界に対する視座を養う文学部

勤務先 北海道経済部経済企画局国際経済課

齊藤 遼(さいとう りょう)さん
文学部 歴史学・人類学コース(平成24年度卒業)



高校時代に体験授業で受けた東洋史学の吉開将人先生のゼミに魅了されて、北大文学部に進みました。入学してすぐに東洋史学の講義を一番前に座って受けたときの嬉しさは今も忘れられません。歴史学の他にも文化人類学や哲学、宗教学、心理学などさまざまな講義を受講しました。そこで養ったものは「人間ってこういうところがあるよな」とか「世界ってこういうふうになっているんだな」という自分なりの感覚です。仕事をしていると、日々課題にぶつかります。私の仕事は「人」との調整が主な仕事ですので、対応に客観的な答えがなく、自分の持つ情報や知識に基づき都度、判断をする必要があります。その時に自分の考えを整理する軸として、自分なりの人間や世界に対する視座というものがあり、それは紛れもなく「人」に関する学問を修める文学部にいたからこそ養えたものだと感じています。

お仕事紹介:ODAを経て中国との経済交流を担当

自分の生まれ育った北海道をもっと元気にしたくて北海道庁を希望しました。入庁後、4年目から外務省に出向しベトナム、インドネシアなどへのODAを担当し、上海総領事館にも勤務しました。今は道庁に戻り、経済部国際経済課で中国との経済交流、主に道産品の中国への輸出拡大に向けた取組みを担当しています。

昨今は将来の就職を考えて文学部進学を迷う人も少なくないと思いますが、大学はまず学びの場であり、文学部はさまざまな「人」に関する知識が絡み合う面白い世界です。そこで得られるものは仕事を越えて、生きていく中で大切なあなたの軸になっていくと思います。

※本項は2021年6月現在のデータで構成しています。

卒業生の就職先(過去3年間の主な就職先)

公務員	広島県庁 北海道開発局 北海道庁 北海道労働局 宮城県庁 横浜市役所	NTTデータフォース NTTデータ北陸 EVERRISE エレクトロニック・ライブラリー KADOKAWA キャノンマーケティングジャパン クレスコ KDDIエボルバ札幌センター ZAIZEN JTBパブリッシング 時事通信社 システム・ケイ SHIFT ジャステック 尚文出版 ダイヤモンドヘッド 中日新聞 TBSテレビ デジタルデータソリューション 東急テックソリューションズ トレンド・プロ 西日本電信電話 日本アイビー・エム・ソリューション・サービス 日本電波ニュース社 日本放送協会 農山漁村文化協会 パーソルプロセス&テクノロジー 浜島書店 BFT 東日本電信電話 ビッグロブ 富士通コネクテッドテクノロジーズ フューチャーインスペース フューチャーアーキテクト プライセン プライム・ブレインズ フルタニ産業 文藝春秋 北海道新聞社 北海道テレビ放送 北海道文化放送 メンバーズ 楽天	LASSIC 製造業 極洋 グリコ栄養食品 廣瑩堂 高橋物産 ニチロ畜産 倉敷紡績 出光興産 エーザイ 富士フィルム ブリヂストン JFEスチール 大同特殊鋼 日鉄エンジニアリング ティーキューオー 村田製作所 セイコーエプソン 東芝テック 日本HP パナソニック 富士通 三菱電機 川崎重工 スズキ デンソー北海道
外務省 環境省 経済産業省 経済産業省 東北経済産業局 経済産業省 北海道経済産業局 厚生労働省 小樽検疫所 厚生労働省 北海道厚生局 国土交通省 国土交通省 近畿地方整備局 国土交通省 国土地理院 財務省 函館税関 財務省 北海道財務局 総務省 東北総合通信局 総務省 北海道管区行政評価局 総務省 北海道総合通信局 内閣官房 農林水産省 農林水産省 北海道漁業調整事務所 防衛省 陸上自衛隊北部方面総監部 法務省 札幌出入国在留管理局 法務省 札幌法務局 法務省 北海道地方更生保護委員会 文部科学省 愛知県庁 青森県庁 茨城県庁 江別市役所 大分県庁 埼玉県警察 札幌市役所 大仙市役所 伊達市役所 千葉県庁 東京都庁 栃木県庁 富山県庁 長野県庁 新潟県庁 八戸市役所 兵庫県庁	教育・学習支援業 愛知県立高等学校 岡山学芸館清秀中学校・高等部 尾道学園尾道中学校・高等学校 岐阜県立高等学校 札幌市立中・高等学校 滋賀県立立高等学校 東京都立中・高等学校 東北大学 函館白百合学園高等学校 北海道北見柏陽高等学校 北海道大学 北海道立高等学校 ヴィリング KDG看護予備校 進学会 秀英予備校 ブレーンバンク ベネッセコーポレーション 代々木ゼミナール	情報通信業 アイエンター アイアンドシー・クルーズ 岩崎 Inagora インテック NHK出版 NECソリューションイノベータ NTTデータ NTTデータMSE NTTデータカスタマーサービス NTTデータセキスイシステムズ	

金融・保険業	京ろまん JR九州リテール セコマ テラーメイドゴルフ トライアルカンパニー ニトリ ハミューレ ロフト ローソン 朝日航洋 SBSリコーロジスティクス 四国旅客鉄道 住友倉庫 苫小牧埠頭 西日本旅客鉄道 日本郵便 阪急阪神エクスプレス 東日本高速道路 ホームロジスティクス 北海道旅客鉄道 北海道空港 ロジネットジャパン 伊藤忠エネクス 静岡ガス TOKAIホールディングス 東北電力 北海道ガス 北海道電力 北海道電力ネットワーク	医療・福祉 医療法人 新産健会 さっぽろ青少年女性活動協会 CBホールディングス 生活科学運営 日本年金機構 ベネッセスタイルケア メディカル・ケア・サービス	農業・林業 京都造園	不動産業、物品賃貸業 ウィル カチタス 桂和商事 サクシード 住商アーバン開発 タイムズモビリティ 武蔵コーポレーション ロイヤル通商	学術研究、専門・技術サービス業 アクセンチュア Webライター・作家 NTTデータエービック エル・ティー・エス 小田急箱根ホールディングス 建設技研インターナショナル 建設物価調査会 セプターニグループ 日本経営 日本経済広告社 日本総合研究所 日本伝統芸能家 野村総合研究所	複合サービス業 博報堂 PwCコンサルティング PwC京都監査法人 フォーモア フューチャー フューチャーアーキテクト ベイロール 三菱UFJリサーチ&コンサルティング USEN-NEXT HOLDINGS 吉岡経営センター リクルート北海道じゃらん リンクアンドモチベーション 量子科学技術研究開発機構	サービス業 きょうわ農業協同組合 公立学校共済組合 士幌町農業協同組合 生活協同組合コープさっぽろ ホクレン農業共同組合連合会 エイチケイアール スターバックスコヒージャパン はなまる 近畿日本ツーリスト北海道 JTB スタジオよんどしい TBCグループ 日本写真判定 アイエスエフネット アウトソーシングテクノロジー エーツー セントスタッフ 中小企業基盤整備機構 日本国際協力センター バーチャレクス・コンサルティング バルセロナ マイナビ
青森銀行 愛媛銀行 岡三アセットマネジメント 岐阜信用金庫 ジェーシービー 大和証券 大地みらい信用金庫 苫小牧信用金庫 日本政策投資銀行 農林中央金庫 八十二銀行 北洋銀行 北海道銀行 北國銀行 みずほフィナンシャルグループ みずほ証券 三井住友銀行 三井住友信託銀行 三菱UFJ信託銀行 ゆうちょ銀行 りそな銀行 AIG損害保険 かんぽ生命保険 第一生命保険 地方職員共済組合 東京海上日動火災保険 富国生命保険 北栄保険サービス 三井住友海上火災保険 明治安田生命	運輸・郵便 朝日航洋 SBSリコーロジスティクス 四国旅客鉄道 住友倉庫 苫小牧埠頭 西日本旅客鉄道 日本郵便 阪急阪神エクスプレス 東日本高速道路 ホームロジスティクス 北海道旅客鉄道 北海道空港 ロジネットジャパン	電気・ガス・熱供給・水道業	建設業 一条工務店 岩田地崎建設 技研製作所 積水ハウス 大気社	卸売業・小売業 内田洋行 興和江守 双日 トーハン 日本たばこ産業 リンクス	サービス業 博報堂 PwCコンサルティング PwC京都監査法人 フォーモア フューチャー フューチャーアーキテクト ベイロール 三菱UFJリサーチ&コンサルティング USEN-NEXT HOLDINGS 吉岡経営センター リクルート北海道じゃらん リンクアンドモチベーション 量子科学技術研究開発機構		



大学院進学

「さらに深く」専門研究に取り組む大学院
2専攻11講座20研究室で修士・博士の学位を取得

学部での学びをさらに掘り下げる 北海道大学大学院文学院

北海道大学は研究に重点を置く大学院大学でもあります。文学部の4年間で十分に解明できなかった研究テーマをさらに深く掘り下げたいという人は、ぜひその先の大学院へ。

文学院は、国内きっての人文科学系研究拠点として多くの優れた研究者を輩出しています。修士課程を終えた大学院生の約4割は民間企業に就職あるいは公務員・教員になり、なかには民間企業の研究部門に職を得た人もいます。さらに研究を深めたいときは博士後期課程に進学という選択肢も。大学院生の学会参加旅費支援や校閲費支援など文学院独自の支援制度のほか、博士後期課程学生には「北海道大学アンビシャス博士人材フェロウシップ」という支援制度もあり、充実したサポート環境のもと、専門研究に没頭できます。

専門研究の基礎を習得、 修士論文を執筆

[修士課程]

標準修業年限は2年間。大学院の授業を受講しながら、指導教員による個別指導を受け、修士論文を執筆します。研究会や学会での発表も重要な訓練の場です。

入試 北大文学部卒業予定者のみを対象とする特別入試のほか、一般と留学生を対象とする前期入試、一般・留学生・社会人を対象とする後期入試の年3回。文学部卒業予定者はいずれも受験できます(特別入試は受験資格に条件があります)。

専門研究を修めた証、 博士学位の取得を目指して

[博士後期課程]

標準修業年限は3年間。自立した研究者・専門家を目指し、博士論文の完成を目指します。国内外の学会発表や論文投稿など、研究活動中心の生活を送ります。

入試 9月の前期入試、2月の後期入試の年2回行われます。

専攻	講座	研究室	修士課程定員	博士後期課程定員
人文学	哲学宗教学	哲学倫理学、宗教学インド哲学	71名	28名
	歴史学	日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学		
	文化多様性論	文化人類学、芸術学、博物館学		
	表現文化論	欧米文学、日本古典文化論、中国文化論、映像・現代文化論		
	言語科学	言語科学		
	スラブ・ユーラシア学	スラブ・ユーラシア学		
	アイヌ・先住民学	アイヌ・先住民学		
人間科学	心理学	心理学	19名	7名
	行動科学	行動科学		
	社会学	社会学		
	地域科学	地域科学		

専門研究を後押しする豊かな環境のもと、栄えある受賞者が続出

北大大学院文学院の大学院生は、国内屈指の恵まれた環境の中、国内外で高く評価される研究成果を残しています。

(2020年 受賞者情報)

- 日本社会心理学会 若手研究者奨励賞 中田星矢さん、前田友吾さん(修士課程)
- 日本倫理学会 和辻賞(論文部門) 安田 将さん(博士後期課程)
- 中村元東洋思想文化賞 優秀賞 熊征さん(修士論文が受賞対象:博士後期課程)
- 日本基礎心理学会 優秀論文賞 山内健司さん(博士後期課程)
- 日本基礎心理学会 優秀発表賞 前澤知輝さん(修士課程)、伊藤資浩さん(博士後期課程)
- 日本哲学会 若手研究者奨励賞 安田将さん(博士後期課程)
- 林業経済学会 学生論文賞 澤井啓さん(修士の時の研究が受賞対象:博士後期課程)

研究者への道

未来の自分が悔いを残さないように

勤務先 北海学園大学 工学部 教授 | 熊坂 亮(くまさかりょう)さん



PROFILE

平成13年北大文学部を卒業後、北大大学院文学研究科修士課程言語文学専攻を経て平成21年12月に「博士(文学)」を取得。平成23年より北海学園大学工学部に勤務し、平成29年より現職。専門はドイツ語学のなかでも「スイスのドイツ語」に関する研究。言語的特徴だけでなくスイスの言語状況や言語政策も対象としている。

初めは英語学に関心がありましたが、学部1年のドイツ語の授業がとても楽しくて、今の道を歩き出すきっかけになりました。一口に言語研究といっても「標準語」だけでなく「方言」も対象にできること、社会と言語あるいは人間と言語のつながりも研究対象にできることを学んだ学部時代でした。

博士後期課程に進むということは、乳児が「好きときに好きなだけ寝ていられる」ように「好きときに好きなだけ研究に没頭できる」特権を与えられることです(うちの乳児たちはあまり行使してくれませんでした)。その一方で研究に没入できる幸せは学術的かつ経済的な不安とつねに表裏一体であり、頂上がなかなか見えてこない長いはしごを登り続けるようなものでした。その果てしない道のりのなかで、スイス政府奨学金を取得して行ったスイス留学という人生の大きな糧となる経験や手を差し伸べてくれる方々との出会いがあり、幸いなことに生業を獲得して現在に至ります。さまざまな可能性に満ちた皆さんに「博士を目指しましょう」と無責任に言うことはできませんが、人生に「する」ことによる後悔と「しない」ことによる後悔の両方があるならば、どちらが未来の自分にとってより深い後悔になりそうか。これが一つの物差しになるのではないかと感じています。あなたの心は何と言っていますか？

特色ある大学院教育プログラム

教養深化プログラム

●プログラム設置の背景と目的

人文・社会科学分野の大学院教育においては、研究者育成だけでなく、社会の多くの分野で活躍する人材の育成が求められています。教養深化プログラムは、教員、公務員や民間企業等への就職を希望する学生を対象とするプログラムです。

学部を卒業してすぐに就職するのではなく、修士課程に進学し、専門分野の研究をさらに深めるとともに、人文社会科学諸分野の総合的な学修と、社会で役立つジェネリックスキル*の習得を実践することにより、高度な専門知識を有し即戦力となる人材を育成します。博士後期課程の学生にとっても、幅広いキャリアが開けるでしょう。

*ジェネリックスキル：社会人として活躍できる能力のこと。具体的には「知識活用力」、「課題解決力」、「コミュニケーション力」、「チームワーク・リーダーシップ」等の社会で役立つ汎用的な力を指す言葉として使われています。

教養深化科目群(プログラム生限定科目)

教養深化特別演習(基礎・総合)

- 多角的に分析し複合的に考察・表現する能力を身に付けます。
- 専門研究に関連つけた実践を通じて、総合力の一層の充実を図ります。

サイエンスリテラシー特別演習

- 数理的思考とデータ処理・活用法を学びます。
- 科学研究の最先端に触れ、科学的リテラシーを身に付けます。



ジェネリックスキル科目群(大学院共通授業科目)

ジェネリックスキル特殊講義 / ジェネリックスキル特別演習

- 文系学生向けのキャリアマネジメントやキャリア形成、交渉学やプレゼンテーション技法等を学びます。

修了要件を満たすとディプロマを取得できます。
国内外の企業、公的機関等で活躍できる人材に!

人間知・脳・AI教育プログラム(CHAIN®教育プログラム)

●プログラム設置の背景と目的

人文社会科学・脳科学・AI研究が交差する地点で「人間」について多角的に学ぶ文理融合型の教育プログラムです。人文社会科学、神経科学、人工知能の各領域を専攻する大学院生が、所属大学院を超えて学際的共同研究に参画し、関連する知識・技能を学びながら、それぞれの専門的知見・技能をも深めています。必要な単位を修得し、研究発表を行った履修生には、ディプロマが授与されます。

*CHAIN: Center for Human Nature, Artificial Intelligence, and Neuroscience 人間知・脳・AI研究教育センター

修士課程1年から5年間で履修する場合(履修例)

人文社会系	自然科学系
●修士課程2年間で人間知序論I、II/入門ベジアン・モデリング/ディープラーニング演習/脳科学入門/SS/W/S*を修了。	●修士課程2年間で人間知序論I、II/ディープラーニング演習/脳科学入門/哲学特殊講義/SS/W/Sを修了。
●博士後期課程3年間で国内研究室インターン/研究留学/SS/W/Sを修了。	●博士後期課程3年間で研究留学/企業インターン/SS/W/Sを修了。

*SS:サマースクール ※WS:ウィンタースクール

博士後期課程1年から3年間で履修する場合(履修例)

人文社会系	自然科学系
●修士課程2年間で各自専門の修士課程を修了。	●修士課程2年間で各自専門の修士課程を修了。
●博士後期課程3年間で人間知序論I、II/国内研究室インターン/脳科学入門/ディープラーニング演習/研究留学/入門ベジアン・モデリング/SS/W/Sを修了。	●博士後期課程3年間で人間知序論I、II/国内研究室インターン/脳科学入門/ディープラーニング演習/研究留学/哲学特殊講義/SS/W/Sを修了。

各大学院での博士号取得と同時に「人間知」のディプロマを取得

本プログラム終了後は、研究者として学際的研究に従事したり、「人間」にも科学技術にも通じた高度人材として企業に就職したりといった道があります。

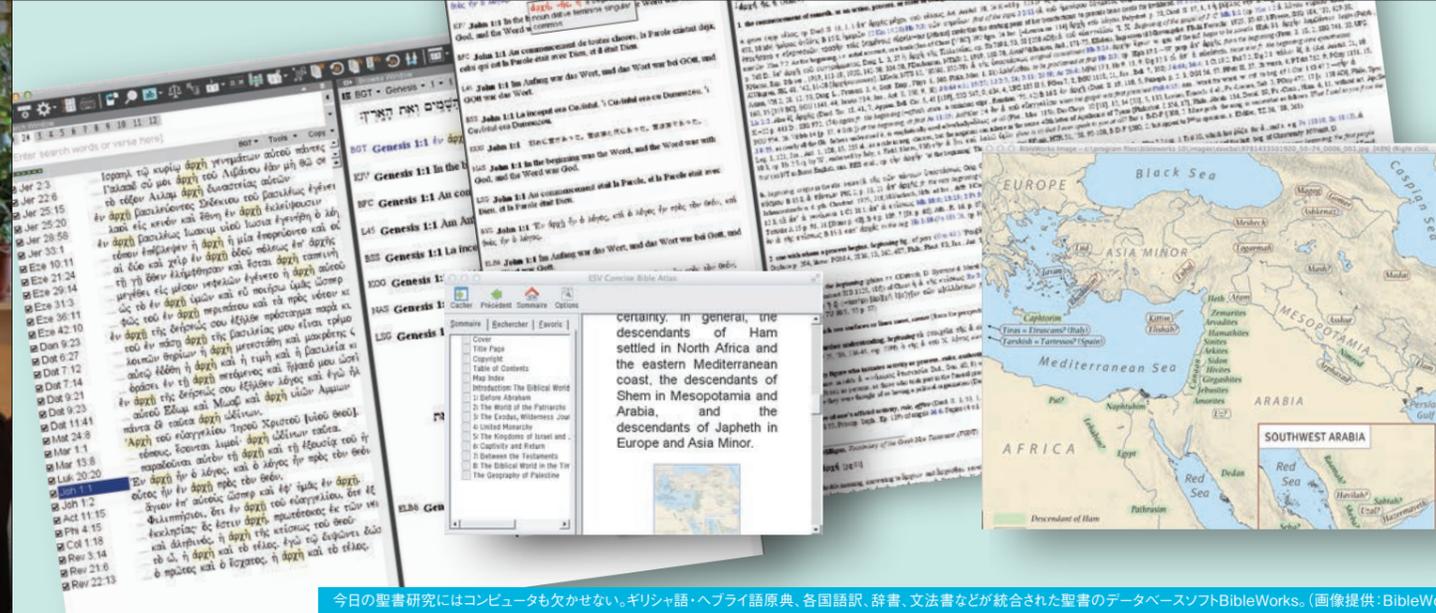
研究者に学ぶ

～専門研究の魅力を知る～

北大文学部の教員は学生をいざなう教育者であると同時に、各自が関心を持つ研究テーマに取り組む研究者でもあります。学部移行とともに専門研究のスタートラインに立つ皆さんに向けて、4人の教員が専門研究の魅力を紹介いたします。



サハリンや北海道の近世文書が所蔵されるロシア・サントペテルブルクの研究所にて。北海道の歴史を考えるには、国際的な共同研究も欠かせません。



今日の聖書研究にはコンピュータも欠かせない。ギリシア語・ヘブライ語原典、各国語訳、辞書、文法書などが統合された聖書のデータベースソフトBibleWorks。(画像提供：BibleWorks社)

日本史学研究室

谷本 晃久 教授

TANIMOTO Akihisa

谷本先生の研究テーマは何ですか？

近世日本（江戸時代）の社会史に取り組んでいます。とりわけ「蝦夷地」と呼ばれた北海道・千島列島・サハリンをフィールドとしていますから、主体的なアイヌ史の構築にも関心に向けています。素材は主に和文の古文書ですが、その所在は世界各地に及んでいるため、近年はロシアとの共同研究を進めています。

学問の「消費者」から「生産者」へ。自らの足元の歴史を掘り下げることから、みえてくる地平がある。

「日本史」という枠組みは、高校の科目にもありますから、皆さんにとって馴染みが深い分野でしょう。高校で「日本史」を履修しなかった方でも、小学校・中学校の「歴史」の授業で、日本史に関する内容は必ず学習したはずですよ。

いま、「学習」という言葉を使いましたが、大学で学ぶ日本史は、決められた教科書をきっちり覚える学習とは、ちょっと違います。求められるのは、課題を自ら設定し、信頼のできるソース（史料）を専門的な手法で分析を行ない、客観的な論拠を提示し叙述する姿勢です。いわば、成果品を享受する「消費者」から、消費に耐える商品を提供する「生産者」への転換です。

私は現在、「近世蝦夷地在地社会の研究」を看板に、仕事を進めています。江戸時代の北海道・サハリン・千島列島に結ばれた社会の構造を、古文書を素材としながら日々分析を進めています。…とこう書くと、ローカルな郷土史研究だなあ、と思う方もあるかもしれません。ただ、世界中どこをみわたしても、社会史研究は、ローカルな事例を深く具体的に分析することから始まるものです。

江戸時代の北海道を例にとると、そこには、アイヌ語を母語としアイヌ文化を自らの文化とした集団と、日本語を母語とし和風文化を自らの文化とした集団とが織りなした、独特の社会秩序が息づいていたことに気づきます。異文化に属する集団の存在を前提とした、相互に交流と軋轢を抱えながらの社会が、つい150年ほど前の北海道にはあったわけです。

異文化理解や民族紛争といえど、どこか遠い世界へ出かけて行かなければ直面でできない課題と思われがちですが、このように、自らの足元を見つめ直すことで、考えをめぐらせていくこともできるわけです。もちろんそれは、北海道や日本の社会の抱える、アイヌの人のびとをはじめとした方々との民族共生や和解のありかたの模索といった現代的課題へ、歴史学的にアプローチすることにも通じていきます。

このように、北海道の歴史には、大きな課題解決のヒントが豊富に含まれています。あなたも、地道に古文書を解読しつつ、「生産者」としてその鉱脈を探してみませんか？



音威子府村にて。背景は天塩川。道内各地での史料調査は、研究の基本です。

略歴

- 1993年 学習院大学文学部卒業
- 1998年 同大学大学院人文科学研究科博士後期課程中退
- 1998年 同大学文学部助手
- 2000年 北海道教育大学若見沢校助教授

- 2007年 同大学札幌校准教授
- 2008年 北海道大学大学院文学研究科准教授
- 2018年 同教授
- 2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科教授（現在に至る）

※現在、アイヌ・先住民研究センター兼務教員・附属図書館調査研究室員（北方資料担当）を併任

宗教学インド哲学研究室

佐々木 啓 教授

SASAKI Kei

佐々木先生の研究テーマは何ですか？

ヨハネ福音書を中心とする新約・旧約聖書の研究を発端として、キリスト教の成立とその異端（グノーシス主義）をめぐる諸問題、さらに、「異端の研究者」であるルーマニア人宗教学者ヨアン・ペトル・クリアヌの宗教研究や現代フランス人哲学者ポール・リクルールの「聖書解釈学」をめぐる哲学思想などについても追究しています。

「宗教」は不可解なもの。だが、「宗教」を深く理解することは、世界を知る突破口でもある。

私の専門は「宗教学」ですが、「宗教」と同じくらい、この「宗教学」という学問領域も茫漠としているかもしれません。いずれにせよ、究極的には、「宗教とは何か？」という問いに答えようと試みるのが「宗教学」といえます。

私の最も中心となる研究対象は、キリスト教の新約聖書に含まれる「ヨハネ福音書」という文書です。このテキストはコイネーと呼ばれるギリシア語で書かれており、その内容や言語についてさまざま角度から検討するというのが研究の出発点でした。キリスト教は西洋世界においておよそ2000年の歴史を持っていますので、いきおいその聖書についての研究の歴史は長く、読むべき文献も膨大にあります。そういった研究書の言語は多岐に渡るため、ギリシア語や（旧約聖書の言語である）ヘブライ語といったテキスト自体の言語はもちろん、蓄積された研究史を学ぶために、いくつも西洋の言語を身につけなければなりません。

私は、この核となるごく狭い専門分野から始めて、旧約聖書をも含む聖書全般、キリスト教の成立や、その異端とされる「グノーシス主義」をめぐる諸問題、さらに現代の日本にまで至るキリスト教という宗教全般について研究を続けてきました。その過程で、ヨアン・ペトル・クリアヌというルーマニア人宗教学者と出会い、早世した彼の独特な業績を探究するという副業も生じました。また、聖書とキリスト教をめぐる私の研究は、そもそも学部の卒業論文でとりあげた現代フランスの哲学者ポール・リクルールの思想と深く結びついており、宗教をめぐる彼の哲学思想についてもずっと研究を続けています。

統計によると、キリスト教徒の人口は世界の総人口の3割強になります。世界に出れば、3人に1人以上がキリスト教徒だということです。キリスト教は日本よりも世界において、「ありふれた宗教」だということになります。ですから、実は日本よりも（中国や韓国などアジアの国々をも含む）国外においてキリスト教についての研究を発表する方が容易だ、という面もあります。われこそはと思う人は、ぜひキリスト教を深く学んで、国際的に活躍するきっかけをつくって欲しいものです。



略歴

- 1985年 北海道大学大学院文学研究科博士後期課程哲学専攻（宗教学専修）中退
- 1985年 北海道大学文学部（宗教学講座）助手
- 1991年 弘前学院大学文学部講師
- 2002年 北海道大学大学院文学研究科助教授
- 2010年 同准教授を経て、同教授
- 2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科教授（現在に至る）



アメリカの小説家エドガー・アラン・ポーの草稿調査を行ったニューヨーク公共図書館とその外観。



静内研究牧場の初夏の様子。広大な草地でのびのびと暮らすウマのコミュニケーション行動を朝から日暮れまで観察している。

欧米文学研究室

竹内 康浩 教授

TAKEUCHI Yasuhiro

竹内先生の研究テーマは何ですか？

19世紀以降から現代までのアメリカ文学を研究しています。最近、作品中の未解決殺人事件や奇妙な自殺に注目して、マーク・トウェインの『ハックルベリー・フィンの冒険』、J. D. サリンジャーの『ナイン・ストーリーズ』などを読み解き、日本語と英語で研究成果を発表するよう努めています。

マーク・トウェインたち米文学作家が執着した正解のない問いかけから目を背けずに生きていく。

文学とは何なのでしょう。子供の頃から本を読むのが好きならば、あらためてその意味を問うまでもなく、文学は大切なものなのでしょう。そうでない人たちが文学と聞いて真っ先に思い浮かべるのは、国語の授業かもしれません。恥ずかしながら私自身も、国語の教科書のおかげで宮沢賢治の『永訣の朝』や夏目漱石の『こころ』に初めて触れることが出来ました。どちらも気持ちを揺さぶられながら読みましたが、国語は教科なのでそれだけでは済まされません。テストがあります。そして、多くの人と同じように私も不満に思っていました——国語には決まった答えがないじゃないか！

それは国語が苦手な人の負け惜しみのようにも聞こえます。けれど、今思えば案外その不満は文学の本質を突いているような気がします。少なくとも文学の研究とは、そもそも答えが出ない問題について考え続けることのようにも思うのです。

宮沢賢治も夏目漱石も、解決が不可能な問題に取り憑かれていたのではないのでしょうか。『永訣の朝』は、賢治の妹が亡くなった直後に書かれた詩ですが、そもそも人の死に解決策はありません。人は必ず死にます。これから先どんなに理想的な社会が建設されようとも、そこでどれほど人が幸福に生きようとも、死の問題は残り続け、人は苦悩するでしょう。『こころ』では親友に対する主人公の罪の意識が描かれますが、罪もまた（法的には償っても）本質的には解決できないのではないのでしょうか。罪によって失われたものと償いによって返済されたものは、実は別のものなのですから。よく考えてみて下さい。



著書Mark Xが批評部門の候補となったエドガー賞の晩餐会で

なんだか授業のようになってしまいました。このような問題への関心が私の研究の根底にあります。私が専門にしているアメリカ文学の作家も——『トム・ソーヤの冒険』のマーク・トウェインも、『グレート・ギャツビー』のスコット・フィッツジェラルドも、『ライ麦畑でつかまえて』のJ. D. サリンジャーも——それぞれにとって根源的な問題に執着し続けています。それはおそらく、答えがないからといってそこから目を背けては、誠実に生きることは不可能だからではないのでしょうか。



略歴

1990年 東京大学文学部卒業
1993年 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了
東京大学文学部助手
1995年 一橋大学教養部専任講師
2000年 同助教授

2003年 奈良女子大学大学院人間文化研究科助教授
2008年 北海道大学大学院助教授
2014年 同准教授を経て、同教授
2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科教授（現在に至る）

行動科学研究室

瀧本 彩加 准教授

TAKIMOTO Ayaka

瀧本先生の研究テーマは何ですか？

さまざまな動物のこころを調べて比較し、その動物らしさを明らかにしながら、こころがどのような道筋を経て進化してきたのかを探る研究、比較認知科学・動物心理学を専門としています。最近では特に、仲間と絆を築いたり、仲間を思いやりたりするような「仲間とかかわるこころ」についての研究に力を入れています。

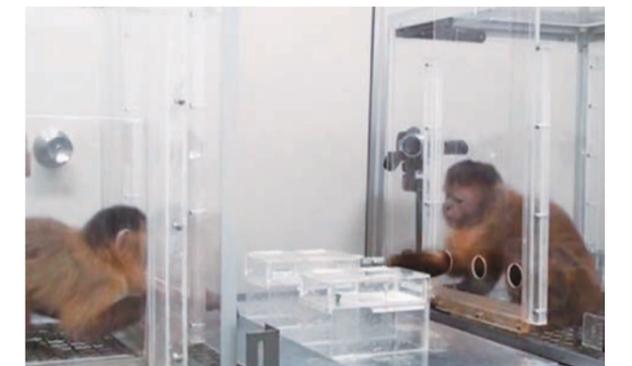
よく見て、感じて、考えて 客観的かつ説得的な証拠を集めて、動物のこころを科学する。

皆さんは「動物は何を感じ、考えているのだろう」と不思議に思ったことはないですか。私の場合、大学で馬術部に入部し、毎日ウマと一緒に過ごす中で、そんな疑問が自然と湧いてきました。それが動物の心理学の世界に足を踏み入れたきっかけでした。

私が研究してきたウマやフサオマキザルは、仲間とかかわり合いながら暮らす動物です。ウマはまた私たち人間と古くからともに暮らし、親密な関係性を築き上げてきました。私は、彼らが他者とかかわり合いながら育んできたこころを観察・実験によって調べ、その進化の道筋を探っています。

ただ、動物のこころを理解するというのはなかなか大変な作業です。動物の行動は見ればわかりますが、こころは中をのぞくことも「どう思っているの？」と尋ねて聞き出すこともできないからです。言葉に頼らずに動物のこころを明らかにするには、行動からそれを支えるこころを推測するしかありません。重要なのは観察力・想像力・発想力です。私たちはとにかく動物の行動をよく観察します。彼らの行動は実に多様で個性に富み、今でも日々驚かされるほどで、見ていて飽きません。興味深い行動を見つけたら、そのこころの中に思いを馳せ、例えば、「仲間の手助けをするのは見返りを期待しているからだろう」と仮説を立てます。その仮説を証明するために、観察・実験を通して客観的な証拠を集めます。その際、いかに「目に見えないこころを行動としてうまく引き出し、仮説以外の説明を排除できる洗練された方法」を考案できるかが研究者の腕の見せ所です。

動物たちのこころにはまだまだ謎が潜んでいます。名探偵になったつもりでその謎と一緒に解き明かしてみませんか。



フサオマキザルの食べ物の分配実験場面。右側の分配者は、左側の受け手に対して、大好きなピーナッツを与えるかどうかを決めることができる。受け手との関係性や場面を細かく変えてどんな要因が分配に影響するかを調べる。



略歴

2007年 京都大学文学部卒業
2009年 日本学術振興会特別研究員DC1 京都大学
2012年 博士(文学) 京都大学
日本学術振興会特別研究員PD 東京大学
2015年 北海道大学大学院文学研究科准教授
2019年 改組により北海道大学大学院文学研究科准教授（現在に至る）

入試関連情報

文学部に進学するための入試は以下のとおりです。

			募集人員	令和4年度試験日	試験科目
一般選抜	総合入試文系	前期日程	100名*	令和4年2月25日	国、地歴・数、外
	学部別入試		118名		
		後期日程	37名	令和4年3月12日	小論文
帰国子女入試			若干名	令和3年11月21日	(二次)課題論文、面接
私費外国人留学生入試			若干名	令和4年2月18日	(二次)小論文、面接ほか

※一般選抜(前期日程)では、総合入試文系と文学部のいずれを受けても試験科目は同じです。ただし、定員・倍率・合格最低点などは異なります。総合入試文系で入学した学生は、2年次進級時に法・経済・教育・文学部のいずれか(理系学部も可)に移行しますが、学部ごとに移行人数が定められており、文学部へは30名が移行します(所属学部は本人の志望と入学後の成績に基づいて1年次終了時に決定します)。文学部一般選抜後期日程では、「小論文」のみを課します。

文学部ではAO入試、推薦入試、編入学試験は行っていません。

一般選抜(後期日程)に総合入試はありません。総合入試文系、文学部前期日程、文学部後期日程のいずれの試験に合格して入学しても、文学部に進級する場合、履修する授業や必要な単位などの条件は特に変わりありません。ただし、1年次のクラスは総合入試文系での入学者と学部別入試の入学者で異なります。詳細および最新情報は「募集要項」のほか、以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ→「入学案内」 <https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

インターネットで北海道大学や文学部の情報を!

北海道大学 大学院文学研究院・文学院・文学部



<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

文学研究院・文学院・文学部 Twitter

公式 Twitter は、研究情報、学内行事など学生向け情報を中心に更新、緊急時の情報共有メディアとしても利用します。



https://twitter.com/HU_Bungaku

文学研究院 Facebook

文学研究院の研究活動や研究情報を中心に情報発信します。



<https://www.facebook.com/Hokudai.Humanities.HumanSciences/>

学生サポート情報

入学科・授業料減免

入学科、授業料の納入が困難な学生に対して、入学科の全額または半額、授業料の全額、半額もしくは4分の1を減免または徴収を猶予する制度があります。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ
→[学生生活]→[各種手続き・証明書]→[入学科・授業料]

参考:

令和3年度入学科 282,000円
令和3年度授業料 年額535,800円

※金額は改定されることがあります。

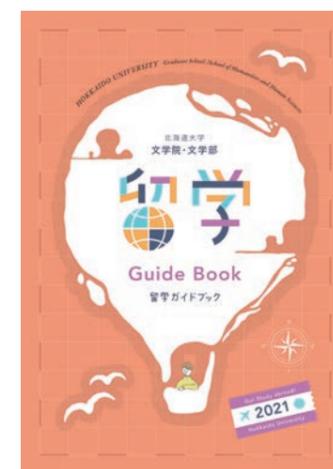
奨学金

北海道大学で取り扱っている奨学金は、日本学生支援機構、民間・地方自治体等奨学団体の奨学金があります。奨学金は種類によって返還義務のある「貸与」及び返還義務のない「給付」とに分けられます。詳細は以下のサイトでご確認ください。

北海道大学トップページ
→[学生生活]→[各種手続き・証明書]→[奨学金]

国際交流支援

文学院・文学部では留学生受入、在留留学生の支援、学生の海外派遣など国際交流に関わる業務を行っています。また、文学部の学生が、協定校に交換留学する際の相談受付や留学先の情報提供、申請手続きの支援、協定校との仲介、留学中の情報交換なども行っています。留学に関心のある人はお気軽に文学事務部・教務担当窓口にお越しください。



◀「文学院・文学部留学ガイドブック」を配布しています。

国際交流担当教員

ラフェイ ミシェル 准教授 LA FAY Michelle

■研究分野

日本におけるプロテスタントキリスト教、内村鑑三

学生相談室

学生生活の中では様々な不安や悩みを抱えることがあります。学生相談室では、その様な時に専門のカウンセラーが、みなさんの話を聞き、適切なアドバイスを行います。北海道大学全体の相談室の他に、文学部の建物内にも学生向けの相談室を設けています。

北海道大学 学生相談室

北海道大学トップページ

→[学生生活]→[キャンパスライフサポート]

→[学生相談総合センター学生相談室]

文学部 学生相談室

文学部トップページ

→[総合]→[学生生活]→[学生相談室]



▲文学部学生相談室

保健センター

北海道大学には、学生の保健衛生及び保健指導を行う保健センターがあります。専門医・カウンセラーによる健康相談と応急的な診療の他、定期健康診断や健康診断書・健康診断証明書の発行などさまざまな支援を無料でを行っています。

北海道大学 保健センター

<https://www.hokudai.ac.jp/hoken/>

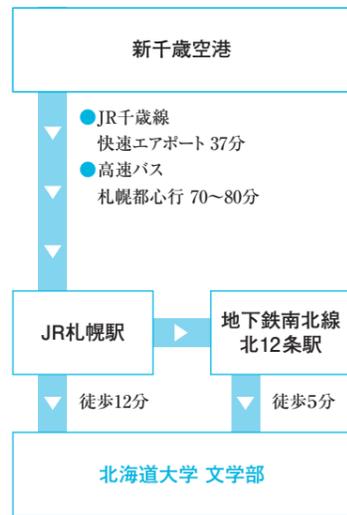
キャリアセンター

就職活動をはじめ、学生ひとりひとりのキャリアデザインを支援し、社会人としての自立のサポートをします。就職ガイダンスや就職相談の他、インターンシップ支援、公務員受験支援、教員採用試験支援なども行っています。

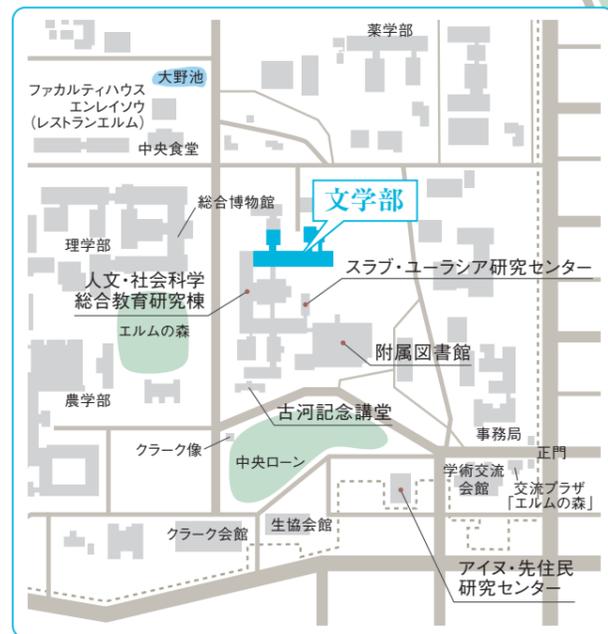
北海道大学キャリアセンター

<https://cc.academic.hokudai.ac.jp/>

Access



文学部周辺地図



国立大学法人
北海道大学 文学部
 〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
 連絡先 文学事務部教務担当
 電話 011-706-3005 / 011-706-3004 (直通)
 URL <https://www.let.hokudai.ac.jp/>
 School of Humanities and Human Sciences, Hokkaido University
 Kita 10, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo, 060-0810 Japan

- 制作・発行 北海道大学 大学院文学研究院
- 企画・編集 株式会社スペースタイム
- 編集担当 吉開将人、宮園健吾、菅井健太、金子沙永 (広報誌専門部会)
- デザイン 株式会社デクスター / 小杉充司
- 森岡和子、飯塚理恵 (研究推進室)

■本誌に掲載されている情報は2021年7月現在のものです。■本誌の無断複写(コピー)・転載は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

